

本文書は、バークレイズ・ピーエルシー(Barclays PLC)が2019年2月21日に発表した2018年度決算報告書を抄訳したものです。その正確な内容については、原文である英文リリースをご参照ください。本文書と英文リリースとの間で齟齬がある場合には原文が優先されます。なお、原文は、<https://www.home.barclays/barclays-investor-relations/results-and-reports/results.html>よりご覧いただけます。

Barclays PLC

Results Announcement

バークレイズ・ピーエルシー
2018年度決算報告書

2019年2月21日発表

目次

決算報告書	ページ
業績ハイライト	1-2
グループ最高責任者によるご挨拶	3
グループ財務担当取締役のレビュー	4-6
事業部門別業績	
• バークレイズ UK	7-9
• バークレイズ・インターナショナル	10-13
• 本社	14
四半期業績の要約	15
事業部門別四半期業績	16-21
バークレイズ・ノンコアの業績	22
非継続事業の業績	23
業績管理	
• 利ざやおよび残高	24
• 報酬	25-26
リスク管理	
• リスク管理および主要リスク	27
• 信用リスク	28-37
• 市場リスク	38
• 財務および資本リスク	39-48
要約連結財務書類	49-53
財務書類に対する注記(抜粋)	54
Appendix: 非 IFRS パフォーマンス指標	55-63
株主情報	64

**財務業績が改善し、グループ有形株主資本利益率は 8.5%、
1 株当たり利益は 21.9 ペンス¹に**

- 株主利益の改善を実現
- 営業レバレッジの改善を図り、資本負担が軽く、かつリターンが魅力的な事業に照準を定めた中期成長に向けた取り組みに投資
- 普通株式 Tier1 (CET1) 資本比率は 13.2%と最終目標の約 13%に達しており、今後の利益創出は投資と株主への現金還元を支える原資に

<p>リターン¹</p> <p>グループRoTE の目標は 2019 年度9%超、 2020 年度10%超</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 1 株当たり利益 (EPS) は 21.9 ペンス (2017 年度: 3.5 ペンスの損失)、グループの税引前利益は 20%増の 57 億ポンドとなり、グループの有形株主資本利益率 (RoTE) は 8.5% (2017 年度: マイナス 1.2%) ● バークレイズ UK は税引前利益が 3%減の 24 億ポンドとなり、RoTE は 16.7% (2017 年度: 17.8%) ● バークレイズ・インターナショナルは税引前利益が 10%増の 39 億ポンドとなり、RoTE は 8.7% (2017 年度: 4.4%)
<p>費用の効率化</p> <p>グループの 2019 年度営業 費用予測は 136 億~139 億 ポンド¹、収益に対する費用 の比率は最終的に 60%未満</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● グループの営業費用は最低保証年金に関連する費用を除いた場合、2%減の 139 億ポンドと予測どおり ● 収益に対する費用の比率は訴訟および特定行為に係る費用を除いた場合、66%に改善 (2017 年度: 68%) ● 2018 年度は費用を絶対ベースで削減する一方、旧来の懸案に係る費用の解消ならびにバークレイズ・エグゼキュション・サービス (BX) による生産性向上効果を通じて営業レバレッジを改善し、中期成長に向けた投資余力をコスト・ベースの範囲内で創出
<p>資本および配当</p> <p>CET1 資本比率は最終目標 の約 13%に到達済み 2018 年度配当は 合計 6.5 ペンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 利益により 140 ベーシス・ポイントの資本を創出するも、訴訟および特定行為に係る費用により 71 ベーシス・ポイント、普通株配当および追加的 Tier1 (AT1) クーボンの支払いおよび予測される支払いにより 53 ベーシス・ポイント、2018 年 12 月における優先株および AT1 証券を償還する決定により 33 ベーシス・ポイント相殺された影響が上回る ● 資本還元政策を更新一適宜実施する自社株買いで補完しつつ、普通株配当を徐々に増加

- **バークレイズ・グループの税引前利益は 35 億ポンドとなりました (2017 年度: 35 億ポンド)**。これは、主に、住宅ローン担保証券 (RMBS) に関連し米国司法省に支払う和解金 14 億ポンドおよび 2018 年度第 1 四半期の支払保障保険 (PPI) に係る費用 4 億ポンド (2017 年度: 7 億ポンド) からなる訴訟および特定行為に係る費用 22 億ポンド (2017 年度: 12 億ポンド) を含みません
- **英ポンドに対する米ドルの平均レートが 3%下落したことによる悪影響があったものの、訴訟および特定行為に係る費用を除いたグループの税引前利益は 20%増加し、57 億ポンドとなりました**。収益は横ばい、営業費用は 2%減少しました。収益に対する費用の比率は 66%に改善しました (2017 年度: 68%)。これは最低保証年金に関連する年金債務の増加が推定されることを反映した費用 1 億 4,000 万ポンドを含みます。コンセンサスに基づく英国および米国のマクロ経済予測の期中の更新ならびに信用リスクの慎重な管理を含め、信用に関する減損費用は 37%減少し、15 億ポンドとなりました。この改善は英国で予測される経済的な不確実性の影響に備えて 2018 年度第 4 四半期に計上した特定費用 1 億 5,000 万ポンドにより一部相殺されました
- **バークレイズ UK の税引前利益は 20 億ポンドに増加しました (2017 年度: 17 億ポンド)**。訴訟および特定行為を除くと、英国で予測される経済的な不確実性に備えた費用 1 億ポンドを受けた減損費用の 5%の増加を反映し、税引前利益は 3%減少し、24 億ポンドとなりました。貸借対照表の大幅な拡大が利ざやの低下を相殺したことで、収益は横ばいでした。費用は、事業の成長と今後の事業効率の改善に向けた持続的な投資を反映し、1%増加しました。訴訟および特定行為を除いた場合の RoTE は 16.7%となりました (2017 年度: 17.8%)
- **バークレイズ・インターナショナルの税引前利益は 38 億ポンドに増加しました (2017 年度: 33 億ポンド)**。市場、コンシューマー、カードおよび決済事業における収益の増加は、米国のカード資産売却益およびバークレイズが保有するビザ・インク優先株の評価益に伴う過年度の一過性の利益が当期は発生しなかったこと、ならびにバンキングの収益の減少により相殺されました。信用に関する減損費用は 56%減少しました。シングルネームの回収、コンセンサスに基づく英国および米国のマクロ経済予測の更新、2017 年度に計上したシングルネーム関連費用が当期は発生しなかったこと、米国カード事業ポートフォリオをより低リスクの構成に転換したことを主に受けています。事業の成長、人材、技術への持続的な投資は事業再編および構造改革に関連する費用の減少により相殺されたことで、営業費用合計は 2%減少しました。訴訟および特定行為を除いた場合の RoTE は 8.7%となり (2017 年度: 4.4%)、コーポレート・アンド・インベストメント・バンク (CIB)、コンシューマー、カードおよび決済事業はそれぞれ 7.1%、17.3%でした (2017 年度: 2.2%、16.8%)
- **株主帰属利益は 14 億ポンドとなりました (2017 年度: 19 億ポンドの損失)**。これはバークレイズ・アフリカ・グループ・リミテッド (BAGL) の持分削減に伴う 25 億ポンドの損失が当期には発生しなかったこと、ならびに税費用が米国繰延税金資産の再測定に伴う一過性の費用純額 9 億ポンドが含まれていた 2017 年度の 22 億ポンドに対して 11 億ポンドとなったことを反映しています。基本的 1 株当たり利益は 9.4 ペンスとなりました (2017 年度: 10.3 ペンスの 1 株当たり損失)。訴訟および特定行為を除くと、21.9 ペンスでした (2017 年度: 3.5 ペンスの 1 株当たり損失)
- **1 株当たり正味有形資産価額は 262 ペンスとなりました (2017 年 12 月: 276 ペンス)**。IFRS 第 9 号の適用、訴訟および特定行為に係る費用の影響、優先株および AT1 証券の償還、配当金支払いが、訴訟および特定行為を除いた場合の 1 株当たり利益 21.9 ペンスを上回ったためです。1 株当たり正味有形資産価額は 2018 年度第 4 四半期に 2 ペンス増加しました。正味有形資産価額の増加は 3 四半期連続となります

¹ 訴訟および特定行為を除いた場合。目標リターンはバークレイズ・グループの CET1 資本比率約 13%に基づく。

業績ハイライト

当グループの業績

	2018年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2017年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	増減率 (%)
収益合計	21,136	21,076	-
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(1,468)	(2,336)	37
営業収益純額	19,668	18,740	5
営業コスト	(13,627)	(13,884)	2
英国銀行税	(269)	(365)	26
営業費用	(13,896)	(14,249)	2
最低保証年金費用	(140)	-	
訴訟および特定行為	(2,207)	(1,207)	(83)
営業費用合計	(16,243)	(15,456)	(5)
その他の収益純額	69	257	(73)
税引前利益	3,494	3,541	(1)
税金	(1,122)	(2,240)	50
継続事業に係る税引後利益	2,372	1,301	82
非継続事業に係る税引後損失	-	(2,195)	
継続事業に係る非支配持分	(226)	(249)	9
非継続事業に係る非支配持分	-	(140)	
その他の持分商品保有者 ¹	(752)	(639)	(18)
株主帰属利益／(損失)	1,394	(1,922)	

パフォーマンス指標

平均有形株主資本利益率 ¹	3.6%	(3.6%)
平均有形株主資本(億ポンド)	441	489
収益に対する費用の比率	77%	73%
貸倒率(ベース・ポイント) ²	44	57
基本的1株当たり利益／(損失) ¹	9.4 ペンス	(10.3 ペンス)
1株当たり配当金	6.5 ペンス	3.0 ペンス

訴訟および特定行為を除いた場合のパフォーマンス指標³

税引前利益	5,701	4,748	20
株主帰属利益／(損失)	3,530	(772)	
平均有形株主資本利益率 ¹	8.5%	(1.2%)	
収益に対する費用の比率	66%	68%	
基本的1株当たり利益／(損失) ¹	21.9 ペンス	(3.5 ペンス)	

貸借対照表および資本管理⁴

	(億ポンド)	(億ポンド)
1株当たりの正味有形資産価額	262 ペンス	276 ペンス
普通株式 Tier1 比率	13.2%	13.3%
普通株式 Tier1 資本	411	416
リスク調整後資産	3,119	3,130
英国レバレッジ比率	5.1%	5.1%
英国レバレッジ・エクスポージャー	9,990	9,850
平均英国レバレッジ比率 ⁵	4.5%	4.9%
平均英国レバレッジ・エクスポージャー ⁵	11,100	10,450

資金調達および流動性

グループ余剰流動性(億ポンド)	2,270	2,200
流動性カバレッジ比率	169%	154%
預貸率	83%	81%

1 その他の持分商品保有者に帰属する税引後利益 7 億 5,200 万ポンド(2017 年度:6 億 3,900 万ポンド)は、剰余金に計上する税額控除 2 億 300 万ポンド(2017 年度:1 億 7,400 万ポンド)によって相殺されます。相殺後残高である 5 億 4,900 万ポンド(2017 年度: 4 億 6,500 万ポンド)は、非支配持分とともに、1 株当たり利益および平均有形株主資本利益率の計算に際して税引後利益から控除されています。

2 比較数値は貸借対照表の表示変更および IAS 第 39 号に関連する減損費用前の貸付金総額(償却原価ベース)に基づき算出しています。

3 訴訟および特定行為を除いた場合のパフォーマンス指標に関する情報と計算の詳細については、英語原文の 64-72 ページをご参照ください。

4 資本、リスク調整後資産およびレバレッジ指標は自己資本規制(CRR)の経過措置ルールを適用して算出しています。これは IFRS 第 9 号経過措置ルールを含みます。

5 平均英国レバレッジ比率およびエクスポージャーは第 4 四半期の数値です。2018 年度および 2017 年度の平均値算出方法の詳細については、英語原文の 49 ページをご参照ください。

6 CRR の経過措置ルールを適用せずに算出した完全施行ベースの CET1 資本比率は 12.8%であり、CET1 資本は 398 億ポンド、リスク調整後資産は 3,118 億ポンドでした。

グループ最高責任者によるご挨拶

「2018年度はパークレイズにとって非常に大きな意味を持つ年となりました。

この1年、旧来の重要な問題が決着し、負担となっていた低リターンの事業の問題も改善しました。推し進めてきた戦略の成果が表れ始め、当行の潜在的な収益力が見えてきました。

このことは2017年度と比べてグループ全体で業績が改善したことにはっきり表れています。

訴訟および特定行為を除いた場合の税引前利益は57億100万ポンドと20%増加し、2018年度の当グループの有形株主資本利益率は8.5%と、2019年度の財務目標である9%超に近い結果となりました。

2018年度の訴訟および特定行為を除いた場合の1株当たり利益は21.9ペンスでした。普通株式 Tier1 (CET1) 資本比率は13.2%と、目標である約13%に到達しています。また、有形資産価額を3四半期連続で伸ばすことができました。

これら重要な指標の改善が進展したことは、当グループの計画が順調に運んでおり、今年度および来年度の目標リターンを達成するための強固な基盤が整っていることを浮き彫りにしています。

当グループのファンダメンタル的な強さは、それぞれが結び付きつつ、多様な事業を展開しているところにあります。パークレイズは景気循環を通して魅力的なリターンを着実に創出することを目指し、個人向け、ホールセルの両方の事業を手掛け、地域、商品、通貨の点で高い多様性を実現しています。2018年度決算はこのことをはっきり示しています。

当グループにおける2019年度および2020年度の最大の優先課題は目標リターンの達成です。それ以外の点としては、中期的に収入を拡大する機会—資本に頼るのではなく、技術をテコとする機会—にも力を入れています。当グループの事業転換に取り組んだ何年もの間は、こうした投資や差し迫った問題以外のことに注力する余裕はありませんでしたが、当グループが達成した効率化の効果により、事業の強化と成長に向けて投資する余力が生まれました。投資は2019年度に予測される136億~139億ポンドの費用の範囲内で進めますが、状況に応じて必要と判断されれば、目標RoTEの達成を後押しするためにそうした投資をある程度柔軟に調整することも可能です。

2018年度、当グループは大幅な資本創出の下に配当水準を6.5ペンスに戻し、金融危機時に発行した割高な優先株を償還しました。これは素晴らしい進展ではありますが、まだ十分ではありません。

今後は、将来の利益の活用において、株主の皆さまへの還元と事業の成長への投資を最も優先していく考えです。当グループの潤沢な資本創出を生かし、配当を通じて株主の皆さまに還元する利益の割合を高めるだけでなく、自社株買いをはじめとする他の資本分配策も実施していく方針です。2019年度以降、当グループの展望は一段と広がっていくものと私は楽観しています。」

グループ最高責任者"ジェイムズ・G・ステイリー"

”

グループ財務担当取締役のレビュー

2018 年度決算は、当グループの戦略遂行の順調な進展を反映する結果となりました。訴訟および特定行為に係る費用を除くと、グループの有形株主資本利益率は 8.5%、1 株当たり利益は 21.9 ペンスとなりました。安定した収益と営業費用の減少を受け、収益が費用以上に増加し、収益に対する費用の比率は 66%となり、信用に関する減損費用が 37%改善したことで、英ポンドに対する米ドルの平均レートが 3%下落したにもかかわらず、税引前利益は 20%増加しました。

CET1 資本比率は 13.2%と最終目標に達しています。パークレイズは 2018 年度の配当を合計 6.5 ペンスとすることを言明します。

グループの業績

- 税引前利益は 34 億 9,400 万ポンドとなりました(2017 年度:35 億 4,100 万ポンド)。訴訟および特定行為に係る費用を除くと、税引前利益は 20%増加し、57 億 100 万ポンドとなりました。信用に関する減損費用の改善と営業費用の減少を受けています。英ポンドに対する米ドルの平均レートが 3%下落したことが利益に悪影響を与えました
- 収益合計は 211 億 3,600 万ポンドとなりました(2017 年度: 210 億 7,600 万ポンド)。パークレイズ UK の収益は横ばいでした。貸借対照表の大幅な拡大があったものの利ざやの低下により相殺されたためです。パークレイズ・インターナショナルでは市場の収益が 9%増加しましたが、リスク調整後資産をより高リターンに再配分する戦略を反映し、コーポレート貸付が 20%減少したことを主因とするバンキング収益の減少により相殺されました。コンシューマー、カードおよび決済事業の収益の増加は、米国のカード資産売却ならびにパークレイズが保有するビザ・インク優先株の評価益を受けて過年度に計上した一過性の利益が当期は発生しなかったことにより相殺されました。本社の収益は 2 億 7,300 万ポンドの純費用となりました(2017 年度: 1 億 5,900 万ポンドの純費用)。2017 年 7 月 1 日付で閉鎖された旧ノンコア部門に関連する費用が発生しなかったことが好影響をもたらしました
- 信用に関する減損費用は 37%減少し、14 億 6,800 万ポンドとなりました。シングルネームの回収、コンセンサスに基づく英国および米国のマクロ経済予測の期中の更新、2017 年度に計上した一過性のシングルネーム関連費用が当期には発生しなかったこと、IFRS 第 9 号適用を引き続き進めるなかでのポートフォリオの調整、米国カード事業ポートフォリオをより低リスクの構成に転換した影響を含め、信用リスクの慎重な管理によるものです。この減少は、英国で予測される経済的な不確実性の影響に備えて 2018 年度第 4 四半期に計上した特定費用 1 億 5,000 万ポンドにより一部相殺されました。パークレイズ・グループの貸倒率は 44 ベーシス・ポイントとなりました(2017 年度: 57 ベーシス・ポイント)
- 営業費用は 138 億 9,600 万ポンド(2017 年度: 142 億 4,900 万ポンド)と 2%減少しました。旧来費用の解消、効率化による費用削減、税率の低下ならびに過年度の調整の影響を受けた銀行税費用の減少の影響が事業の成長と今後の事業効率の改善に向けた持続的な投資を上回ったためです。訴訟および特定行為を除いた場合の収益に対する費用の比率は 66%に低下しました(2017 年度: 68%)
- 営業費用合計 162 億 4,300 万ポンド(2017 年度:154 億 5,600 万ポンド)は訴訟および特定行為に係る費用 22 億 700 万ポンド(2017 年度:12 億 700 万ポンド)ならびにパークレイズ・バンク UK 退職基金(UKRF)加入者の債務の均等化に関連する最低保証年金費用 1 億 4,000 万ポンドを含みます。2018 年 12 月 31 日現在、UKRF の収支は引き続き赤字であることから、最低保証年金費用による資本への影響はありませんでした
- その他の収益純額は 6,900 万ポンドに減少しました(2017 年度: 2 億 5,700 万ポンド)。2017 年度第 2 四半期に計上したパークレイズが保有するポーカリンク株および日本の合併事業の売却益が当期には発生しなかったことを主に反映しています
- グループの実効税率は 32.1%に低下しました(2017 年度: 63.3%)。2017 年度の税率は米国連邦法人税率の引き下げに伴う繰延税金資産の再測定を受けた一過性の費用純額を含んでいました。米国連邦法人税率の引き下げと 2018 年度に認識した過年度修正の好影響を受け、基調的実効税率は 20.9%となりました(2017 年度: 29.4%)
- AT1 金融商品に関連する支払金に対する税控除を利益剰余金ではなく、損益計算書上で認識することを義務付けるための将来の会計基準の変更の影響を除き、グループの将来期間の基調的実効税率は 20%台前半から半ばになると予想されます
- 株主帰属利益は 13 億 9,400 万ポンドとなりました(2017 年度: 19 億 2,200 万ポンドの損失)。これは BAGL の持分削減に伴う 25 億ポンドの損失が当期には発生しなかったこと、ならびに税費用が、米国繰延税金資産の再測定に伴う一過性の費用純額 9 億ポンドが含まれていた 2017 年度の 22 億 4,000 万ポンドに対して 11 億 2,200 万ポンドになったことを反映しています
- 訴訟および特定行為を除くと、RoTE は 8.5%(2017 年度: マイナス 1.2%)、1 株当たり利益は 21.9 ペンスとなりました(2017 年度:3.5 ペンスの 1 株当たり損失)。法定 RoTE は 3.6%(2017 年度:マイナス 3.6%)、基本的 1 株当たり利益は 9.4 ペンスとなりました(2017 年度: 10.3 ペンスの 1 株当たり損失)
- 1 株当たり正味有形資産価額は 262 ペンスとなりました(2017 年 12 月: 276 ペンス)。IFRS 第 9 号の適用、訴訟および特定行為に係る費用の影響、優先株および AT1 証券の償還、配当金支払いが、訴訟および特定行為を除いた場合の 1 株当たり利益 21.9 ペンスを上回ったためです。1 株当たり正味有形資産価額は 2018 年度第 4 四半期に 2 ペンス増加しました。正味有形資産価額の増加は 3 四半期連続となります

グループの資本およびレバレッジ

- 2018 年度末のパークレイズの CET1 資本比率は 13.2%(2017 年 12 月: 13.3%)となり、最終目標である約 13%を達成しました。
- CET1 資本は 5 億ポンド減少して 411 億ポンドとなりました。当行が旧来の重要な問題を解決したことに伴う訴訟および特定行為に係る費用 21 億ポンド、普通株配当ならびに AT1 クーポンの支払いおよび予測される支払い 17 億ポンド、ならびに資本性商品の償還による 10 億ポンドが、創出された基礎的利益 42 億ポンドを上回ったことが原因です。
- リスク調整後資産は概ね安定的に推移して 3,119 億ポンド(2017 年 12 月: 3,130 億ポンド)となりました。当グループは 2018 年度を通して、コーポレート・アンド・インベストメント・バンク(CIB)内のリスク調整後資産をより高いリターンを生み出す事業へ再配分したことを含め、引き続き各事業に対する資本配分を積極的に管理する一方、パークレイズ UK 内の特定のコンシューマー事業およびコンシューマー、カードおよび決済事業の成長に注力しました。パークレイズ UK におけるリスク調整後資産の増加には教育・社会的住宅供給・地方自治体(ESHLA)ポートフォリオのための規制上の手法変更の影響が含まれていますが、これはパークレイズ・アフリカ・グループ・リミテッド(BAGL)の規制上の非連結化による本社のリスク調整後資産の減少により部分的に相殺されました。
- 英国レバレッジ比率は横ばいの 5.1%(2017 年 12 月: 5.1%)でした。英国平均レバレッジ・エクスポージャーは、証券金融取引(SFT)を含め、微増の 9,990 億ポンド(2017 年 12 月: 9,850 億ポンド)でした。CIB が高リターンの金融取引でレバレッジ・バランスシートをより効率的に活用したためです。平均英国レバレッジ比率は 4.5%(2017 年 12 月: 4.9%)に低下しました。

グループの資金調達および流動性

- 余剰流動性は 2,270 億ポンドに増加しました(2017 年 12 月: 2,200 億ポンド)。各事業で正味の預り金が増加したことが主因です。流動性カバレッジ比率(LCR)は 169%に上昇しました(2017 年 12 月: 154%)。これは規制上の要件である 100%に対して 900 億ポンドの余剰に相当します(2017 年 12 月: 750 億ポンド)。また、パークレイズ・グループは内部要件を上回る流動性を維持しました。強固な流動性ポジションは、マクロ経済の継続的な不確実性を踏まえ、パークレイズ・グループが慎重な姿勢で臨んでいることを反映しています
- パークレイズ・グループはパークレイズ・ピーエルシー(親会社)を通じて様々な期間および通貨建ての自己資本および適格債務の低基準(MREL)商品 122 億ポンドを発行しました。パークレイズ・グループの MREL 発行計画は順調に進展しており、2018 年 12 月 31 日現在、パークレイズ・ピーエルシーの MREL 比率は 28.1%となりました。これに対し、2022 年 1 月 1 日までに達成が必要な規制上の要件は、所要バッファを含め、推定 30.0%です
- 安定的で多様化した資金調達基盤を維持するため、パークレイズ・バンク・ピーエルシーは引き続きより短期の市場で、パークレイズ・バンク UK ピーエルシーはより短期かつ有担保市場でそれぞれ債務発行を行いました
- 全体的な資金調達構造は一段と改善しました。パークレイズ・グループは引き続き短期ホールセール資金調達への依存度を引き下げ、1 年未満に満期を迎えるホールセール資金調達の比率は 30%に低下しました(2017 年 12 月: 31%)

その他の事項

- パークレイズは 2005 年~2007 年にパークレイズが販売した RMBS に関連して米国司法省が 2016 年 12 月に起こした民事訴訟について、2018 年度第 1 四半期に米国司法省と和解しました。パークレイズは 20 億米ドル(14 億ポンド)の民事制裁金を支払いました
- パークレイズは 2018 年 5 月、2008 年のパークレイズによる資金調達で発生した事項に関連する、英国重大不正捜査局(SFO)によるパークレイズ・ピーエルシーおよびパークレイズ・バンク・ピーエルシーに対するすべての告訴を英国刑事法院が棄却したと発表しました。2018 年 10 月、英国高等法院は SFO による告訴回復の申し立てを拒否し、その後、告訴は却下されました
- PPI に関連する追加費用 4 億ポンド(2017 年度: 7 億ポンド)が 2018 年度第 1 四半期に認識されました。2019 年 8 月 29 日の期限までの請求をカバーする 2018 年 12 月 31 日現在の PPI に係る引当金繰入残存額は 9 億ポンド(2017 年 12 月: 16 億ポンド)でした。経営陣は現在の PPI に係る引当金を適正な水準と考えていますが、請求動向ならびにそれに伴う引当金の適切性を今後も引き続き注意深く監視します
- パークレイズはブルーデンス(健全性)規制機構(PRA)、ならびにイングランドおよびウェールズ高等法院から、2000 年金融サービス市場法(Financial Services Markets Act 2000)Part VII の下でリングフェンシング移管スキームを実施する承認を受け、2018 年 4 月 1 日、リングフェンシング銀行であるパークレイズ・バンク UK ピーエルシーを設立しました
- 2018 年度第 4 四半期、パークレイズ・バンク・アイルランド・ピーエルシー(BBI)は銀行業免許の延長に関する確認を受けました。これは 2019 年 3 月の英国の EU 離脱に備え、BBI を拡大するというパークレイズの計画の一環です。2019 年 1 月 29 日、パークレイズはイングランドおよびウェールズ高等法院から、2000 年金融サービス市場法(Financial Services Markets Act 2000)Part VII の下で申請していた銀行業移管スキームの実施の承認を受けました

グループ財務担当取締役のレビュー

配当金

- 中間期の配当金 1 株当たり 2.5 ペンスは 2018 年 9 月 17 日に支払われました。バークレイズは 1 株当たり 4.0 ペンスの通年配当を宣言しており、2018 年度の配当総額は 1 株当たり 6.5 ペンスとなります。
- バークレイズは、株主の皆さまにとって魅力的な現金還元を実現することの重要性を理解しています。従って、バークレイズは株主への現金還元総額、事業への投資と強固な資本基盤の維持の間の適切なバランスの維持に取り組んでいます。バークレイズは今後、こうした目標とグループの収益見通しを考慮した上で、累進的な普通株配当をお支払いする方針です。また、取締役会は、普通株配当と併せ、自社株買い戻しを含めた追加的な現金還元を適宜実施していきます。

見通しおよび予測

- バークレイズはその戦略の実行を順調に進めており、引き続き 2019 年度に 9%超、2020 年度に 10%超の有形株主資本利益率 (RoTE)¹、また 2019 年度の営業費用¹ 予測 136~139 億ポンドのレンジを目標としています。グループの 2018 年度の業績はこれらの目標に向けた順調な進展を反映しています。

グループ財務担当取締役 トゥーシャー・モーザリア

¹ 訴訟および特定行為を除いた場合。目標リターンはバークレイズ・グループの CET1 資本比率約 13.0%に基づく。

事業部門別業績

パークレイズ UK

	2018年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2017年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	増減率 (%)
損益計算書関連の情報			
利息収入純額	6,028	6,086	(1)
手数料収入純額およびその他の収益	1,355	1,297	4
収益合計	7,383	7,383	-
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(826)	(783)	(5)
営業収益純額	6,557	6,600	(1)
営業コスト	(4,075)	(4,030)	(1)
英国銀行税	(46)	(59)	22
訴訟および特定行為	(483)	(759)	36
営業費用合計	(4,604)	(4,848)	5
その他の収益／(費用)純額	3	(5)	
税引前利益	1,956	1,747	12
株主帰属利益	1,158	853	36
貸借対照表関連の情報			
	(億ポンド)	(億ポンド)	
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	1,876	1,838	
資産合計	2,497	2,374	
顧客預り金(償却原価ベース)	1,973	1,934	
預貸率	96%	95%	
リスク調整後資産	752	709	
期末割当有形株主資本	102	96	
重要事項			
住宅ローンポートフォリオの平均 LTV	48%	48%	
新規住宅ローン貸出の平均 LTV	65%	64%	
支店数	1,058	1,208	
モバイル・バンキング顧客数	730 万人	640 万人	
30 日超延滞率 - パークレイカード・コンシューマーUK	1.8%	1.8%	
パフォーマンス指標			
平均割当有形株主資本利益率	11.9%	9.8%	
平均割当有形株主資本(億ポンド)	100	91	
収益に対する費用の比率	62%	66%	
貸倒率(ベース・ポイント) ¹	43	42	
純利ざや	3.23%	3.49%	
訴訟および特定行為を除いた場合のパフォーマンス指標²			
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	
税引前利益	2,439	2,506	(3)
株主帰属利益	1,630	1,586	3
平均割当有形株主資本利益率	16.7%	17.8%	
収益に対する費用の比率	56%	55%	

¹ 比較数値は貸借対照表の表示変更および IAS 第 39 号に関連する減損費用前の貸付金総額(償却原価ベース)に基づき算出しています。

² 訴訟および特定行為を除いた場合のパフォーマンス指標に関する情報と計算の詳細については、英語原文の 64-72 ページをご参照ください。

事業部門別業績

パークレイズ UK の内訳

	2018年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2017年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	増減率 (%)
収益合計の内訳			
パーソナル・バンキング ¹	4,006	4,214	(5)
パークレイカード・コンシューマーUK	2,104	1,977	6
ビジネス・バンキング ¹	1,273	1,192	7
収益合計	7,383	7,383	-
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額の内訳			
パーソナル・バンキング ¹	(173)	(221)	22
パークレイカード・コンシューマーUK	(590)	(541)	(9)
ビジネス・バンキング ¹	(63)	(21)	
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額合計	(826)	(783)	(5)
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)の内訳			
	(億ポンド)	(億ポンド)	
パーソナル・バンキング ¹	1,460	1,413	
パークレイカード・コンシューマーUK	153	164	
ビジネス・バンキング ¹	263	261	
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)合計	1,876	1,838	
顧客預り金(償却原価ベース)の内訳			
パーソナル・バンキング ¹	1,540	1,531	
パークレイカード・コンシューマーUK	-	-	
ビジネス・バンキング ¹	433	403	
顧客預り金(償却原価ベース)合計	1,973	1,934	

¹ 2018年度第2四半期にウェルズは、ウェルズ、アントレプレナー&ビジネス・バンキング(現在の名称はビジネス・バンキング)からパーソナル・バンキングに区分を変更しました。比較数値は修正再表示されています。

事業部門別業績

2018年、パークレイズは構造改革の一環として、法的にリングフェンスされた英国初の銀行となるパークレイズ・バンク UK ピーエルシーを正式に設立しました。パークレイズ UK はイノベーションのリーダーとして、顧客との相互関係の変革に向けた投資を行い、2018年を通して市場で強固な地位を維持しました。顧客との意義ある長期的な関係の構築は、健全なリスク選好の範囲内で、持続可能な貸借対照表の拡大とリターンの実現に引き続き結びついています。その増進に向けて、顧客のニーズに顧客が望む条件で応えられるよう、きめ細かい商品とサービスの提供の自動化およびデジタル化投資を行っています

2018年度と2017年度の比較

損益計算書

- 訴訟および特定行為を除いた場合の RoTE はパークレイズ UK の持続的な事業の好調を反映し、16.7%となりました(2017年度: 17.8%)。訴訟および特定行為に係る費用 4 億 8,300 万ポンド(2017年度: 7 億 5,900 万ポンド)を含めると、RoTE は 11.9%に上昇しました(2017年度: 9.8%)
- 収益合計は 73 億 8,300 万ポンドと横ばいでした(2017年度: 73 億 8,300 万ポンド)。貸借対照表の有担保貸付および顧客預り金の大幅な増加により利ざやの低下が相殺されたためです
 - パーソナル・バンキングの収益は 5%減の 40 億 600 万ポンドでした。2017 年度第 4 四半期に実施した実効金利モデルの更新および 2017 年度第 1 四半期に計上したパークレイズが保有するビザ・インク優先株の評価益が当期には発生しなかったこと、ならびに構造改革の一環としてパークレイズ UK からパークレイズ・インターナショナルへの顧客の組み替えを行った影響がモーゲージ貸付の持続的なモメンタムと顧客預り金の増加を上回ったためです
 - パークレイカード・コンシューマーUK の収益は持続可能な成長の重視と 2017 年度下半期の健全化引当金繰入れが当期には発生しなかったことを反映し、6%増の 21 億 400 万ポンドとなりました
 - ビジネス・バンキングの収益は 7%増の 12 億 7,300 万ポンドでした。顧客預り金の大幅な増加と構造改革の一環として行ったパークレイズ・インターナショナルからパークレイズ UK への顧客の組み替えを受けています
 - 純利ざやは、利ざやがより低い有担保貸付の増加と教育・社会的住宅供給・地方自治体(ESHLA)ポートフォリオの統合を反映し、26 ベーシス・ポイント低下し、3.23%となりました
- 信用に関する減損費用は 5%増加して 8 億 2,600 万ポンドとなりました。英国で予測される経済的な不確実性の影響に備えて 2018 年度第 4 四半期に計上した特定費用 1 億ポンドを主に受けています。これはコンセンサスに基づくマクロ経済予測の期中の改善と、英国カードの 30 日超および 90 日超延滞率がそれぞれ 1.8%(2017 年度: 1.8%)、0.9%(2017 年度: 0.8%)と概ね横ばいであったことに反映されている、信用リスクの慎重な管理の持続により一部相殺されました
- 訴訟および特定行為を除いた場合の営業費用は 1%増加して 41 億 2,100 万ポンドとなりました。銀行のデジタル化と今後の事業効率の改善を含む、事業の成長に向けた持続的な投資が費用の効率化とリングフェンス銀行設立に関連する費用の減少により一部相殺されたためです。訴訟および特定行為を除いた場合の収益に対する費用の比率は 56%となりました(2017 年度: 55%)

貸借対照表

- 顧客に対する貸付金(償却原価ベース)はモーゲージの 46 億ポンドの増加を反映し、2%増加し、1,876 億ポンドとなりました
- 資産合計は財務活動資産の本社からの移管を含めた余剰流動性および顧客に対する貸付金の増加を反映して 5%増加し、2,497 億ポンドとなりました
- 顧客預り金(償却原価ベース)は 2%増加し、1,973 億ポンドとなりました。構造改革の一環としてパークレイズ UK とパークレイズ・インターナショナルの間で行った顧客の組み替えによる正味の影響により、預り金の大幅な増加が一部相殺されたことがその理由です
- リスク調整後資産は、モーゲージおよび英国カードにおける増加と ESHLA ポートフォリオに適用される規制上の手法の変更を主に受け、752 億ポンドに増加しました(2017 年 12 月: 709 億ポンド)

事業部門別業績

パークレイズ・インターナショナル

	2018年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2017年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	増減率 (%)
損益計算書関連の情報			
利息収入純額	3,815	4,307	(11)
トレーディング収益純額	4,450	3,971	12
手数料収入純額およびその他の収益	5,761	6,104	(6)
収益合計	14,026	14,382	(2)
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(658)	(1,506)	56
営業収益純額	13,368	12,876	4
営業コスト	(9,324)	(9,321)	-
英国銀行税	(210)	(265)	21
訴訟および特定行為	(127)	(269)	53
営業費用合計	(9,661)	(9,855)	2
その他の収益純額	68	254	(73)
税引前利益	3,775	3,275	15
株主帰属利益	2,441	847	
貸借対照表関連の情報			
	(億ポンド)	(億ポンド)	
貸付金(償却原価ベース)	1,272	1,268	
トレーディング・ポートフォリオ資産	1,040	1,130	
デリバティブ金融資産	2,221	2,362	
デリバティブ金融負債	2,196	2,378	
損益計算書を通じて公正価値で測定する金融資産	1,447	1,041	
資産合計	8,621	8,561	
顧客預り金	1,972	1,873	
預貸率	65%	68%	
リスク調整後資産	2,107	2,103	
期末割当有形株主資本	299	275	
パフォーマンス指標			
平均割当有形株主資本利益率	8.4%	3.4%	
平均割当有形株主資本(億ポンド)	310	281	
収益に対する費用の比率	69%	69%	
貸倒率(ベース・ポイント) ¹	50	75	
純利ざや	4.11%	4.16%	
訴訟および特定行為を除いた場合のパフォーマンス指標²			
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	増減率 (%)
税引前利益	3,902	3,544	10
株主帰属利益	2,547	1,107	
平均割当有形株主資本利益率	8.7%	4.4%	
収益に対する費用の比率	68%	67%	

¹ 比較数値は貸借対照表の表示変更およびIAS第39号に関連する減損費用前の貸付金総額(償却原価ベース)に基づき算出しています。

² 訴訟および特定行為を除いた場合のパフォーマンス指標に関する情報と計算の詳細については、英語原文の64-72ページをご参照ください。

事業部門別業績

パークレイズ・インターナショナルの内訳

コーポレート・アンド・インベストメント・バンク(CIB)

	2018年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2017年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	増減率 (%)
損益計算書関連の情報			
債券・為替・商品(FICC) ¹	2,863	2,875	-
株式	2,037	1,629	25
市場	4,900	4,504	9
バンキング手数料	2,531	2,612	(3)
コーポレート貸付	878	1,093	(20)
トランザクション・バンキング	1,627	1,629	-
バンキング	5,036	5,334	(6)
その他	(171)	40	
収益合計	9,765	9,878	(1)
信用に関する減損戻入／(費用)およびその他の引当金繰入額	150	(213)	
営業収益純額	9,915	9,665	3
営業費用	(7,281)	(7,475)	3
訴訟および特定行為	(68)	(267)	75
営業費用合計	(7,349)	(7,742)	5
その他の収益純額	27	133	(80)
税引前利益	2,593	2,056	26
貸借対照表関連の情報			
	(億ポンド)	(億ポンド)	
貸付金(償却原価ベース)	864	882	
預り金(償却原価ベース)	1,363	1,280	
リスク調整後資産	1,709	1,762	
パフォーマンス指標			
平均割当有形株主資本利益率	6.9%	1.1%	
平均割当有形株主資本(億ポンド)	260	240	
訴訟および特定行為を除いた場合のパフォーマンス指標²			
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	増減率 (%)
税引前利益	2,661	2,323	15
平均割当有形株主資本利益率	7.1%	2.2%	

¹ 債券・為替・商品(FICC)はクレジットとマクロの収益で構成されています。

² 訴訟および特定行為を除いた場合のパフォーマンス指標に関する情報と計算の詳細については、英語原文の64-72ページをご参照ください。

事業部門別業績

パークレイズ・インターナショナルの内訳

コンシューマー、カードおよび決済事業

	2018年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2017年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	増減率 (%)
損益計算書関連の情報			
収益合計	4,261	4,504	(5)
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(808)	(1,293)	38
営業収益純額	3,453	3,211	8
営業費用	(2,253)	(2,111)	(7)
訴訟および特定行為	(59)	(2)	
営業費用合計	(2,312)	(2,113)	(9)
その他の収益純額	41	121	(66)
税引前利益	1,182	1,219	(3)
貸借対照表関連の情報			
	(億ポンド)	(億ポンド)	
貸付金(償却原価ベース)	408	386	
預り金(償却原価ベース)	609	593	
リスク調整後資産	398	341	
重要事項			
30日超延滞率 - パークレイカード US	2.7%	2.6%	
パークレイカード顧客数合計	374,000	366,000	
決済処理額(億ポンド)	3,440	3,220	
パフォーマンス指標			
平均割当有形株主資本利益率	16.5%	16.7%	
平均割当有形株主資本(億ポンド)	50	42	
訴訟および特定行為を除いた場合のパフォーマンス指標¹			
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	増減率 (%)
税引前利益	1,241	1,221	2
平均割当有形株主資本利益率	17.3%	16.8%	

¹ 訴訟および特定行為を除いた場合のパフォーマンス指標に関する情報と計算の詳細については、英語原文の64-72ページをご参照ください。

事業部門別業績

2018年度、パークレイズ・インターナショナルでは戦略の遂行とリターン改善が順調に進展しました。コンシューマー、カードおよび決済事業は基調的な成長を実現し、グローバル・ランキングで順位が1つ上昇した市場業務のパフォーマンスは好調に推移し、バンキングではアドバイザーが過去最高の年となりました。こうした成果は、的を絞った金融資源の投下と人材および技術への投資を通じた事業の構築を継続することで、リターン向上の実現に向けて成長を加速できるという自信を与えてくれるものです

2018年度と2017年度の比較

損益計算書

- 訴訟および特定行為を除いた場合の税引前利益は10%増加して39億200万ポンドとなり、CIBとコンシューマー、カードおよび決済事業のリターンがそれぞれ7.1%(2017年度:2.2%)、17.3%(2017年度:16.8%)とともに改善したことを反映して、RoTEは8.7%となりました(2017年度:4.4%)
- 英ポンドに対する米ドルの平均レートが3%下落したことが利益と収益に悪影響を与える一方で、信用に関する減損費用と営業費用に好影響を与えました
- 収益合計は140億2,600万ポンドとなりました(2017年度:143億8,200万ポンド)
 - CIBの収益は1%減の97億6,500万ポンドとなりました。市場シェアの上昇¹を反映し、市場業務の収益が9%増の49億万ポンドとなったものの、バンキング業務の収益が6%減の50億3,600万ポンドとなったことで相殺されたためです
 - 厳しい環境にもかかわらず、市場シェアが大幅に上昇したことで、FICCの収益は28億6,300万ポンドと横ばいでした(2017年度:28億7,500万ポンド)
 - 株式の収益は25%増の20億3,700万ポンドとなりました。同業他社と比較し、最も高い伸びを示した株式フランチャイズの1つとなり、グローバル・ランキングにおける順位は大幅に改善しました。これは、デリバティブの好調と顧客の取引残高の増加を受けた株式ファイナンス・フランチャイズの持続的な成長とともに、技術投資の効果による電子取引収入の増加によるものです
 - バンキング手数料収入は3%減少して25億3,100万ポンドとなりました。パークレイズは過去最高の年となったアドバイザーを含め、4年ぶりの高い順位とグローバル手数料シェアを維持しましたが、業界全体で債券および株式引き受け手数料が減少した影響を吸収しきれませんでした
 - コーポレート貸付は20%減の8億7,800万ポンドとなりました。CIBのリスク調整後資産をより高リターンの事業に再配分する戦略、ならびに構造改革の一環としてパークレイズUKとパークレイズ・インターナショナルの間で行った顧客の組み替えを反映しています
 - トランザクション・バンキングの収益は16億2,700万ポンドと横ばいでした(2017年度:16億2,900万ポンド)。構造改革の一環としてパークレイズUKとパークレイズ・インターナショナルの間で行った顧客の組み替えの影響により、預り金の的を絞った大幅な伸びが相殺されたためです
 - コンシューマー、カードおよび決済事業の収益は5%減の42億6,100万ポンドとなりました。米国カード・ポートフォリオの売却およびパークレイズが保有するビザ・インク優先株の再評価に関連して2017年度と2018年度に計上した一過性の重要な項目を除くと、基調的な収益は米国カードの成長を受けて増加しました
 - 信用に関する減損費用は56%減少し、6億5,800万ポンドとなりました
 - CIBの信用に関する減損費用は1億5,000万ポンドの戻入となりました(2017年度:2億1,300万ポンドの費用)。英国で予測される経済的な不確実性に備えて2018年度第4四半期に計上した特定費用5,000万ポンドにより一部相殺されたものの、シングルネームの回収、コンセンサスに基づくマクロ経済予測の期中の改善、2017年度に計上したシングルネーム関連費用が当期は発生しなかったこと、信用リスクの慎重な管理などが主な理由です
 - コンシューマー、カードおよび決済事業の信用に関する減損費用は38%減少して8億800万ポンドとなりました。2017年度第1四半期の米国カードにおける資産売却に関する繰延支払いに関連して2017年度第3四半期に計上した費用1億6,800万ポンドが当期には発生しなかったこと、コンセンサスに基づく米国のマクロ経済予測の改善、米国カード事業ポートフォリオをより低リスクの構成に転換した影響を反映しています
 - 営業費用合計は2%減少して、96億6,100万ポンドとなりました。事業再編および構造改革費用の減少ならびに2016年度第4四半期に実施した報奨制度変更の影響の減少により、事業成長、人材および技術への持続的な投資が相殺されたためです
 - その他の収益純額は6,800万ポンドに減少しました(2017年度:2億5,400万ポンド)。2017年度第2四半期に計上したパークレイズが保有するボーカリンク株のマスターカードへの売却益1億900万ポンドおよび日本の合併事業の売却益7,600万ポンドが当期には発生しなかったことを反映しています
 - 株主帰属利益は24億4,100万ポンドに増加しました(2017年度:8億4,700万ポンド)。2017年度は米国の繰延税金資産の再測定に伴う一過性の税費用が影響したことを反映しています

貸借対照表

- 貸付金(償却原価ベース)は1,272億ポンドと概ね横ばいでした(2017年12月:1,268億ポンド)
- デリバティブ金融商品の資産と負債はそれぞれ141億ポンド減の2,221億ポンド、182億ポンド減の2,196億ポンドとなりました。為替および株式デリバティブ取引量の増加により一部相殺されたものの、主要金利フォワード・カーブの上方シフトとロンドン・クリアリング・ハウス(LCH)の規則に基づく日次決済の適用を受けています
- 損益計算書を通じて公正価値で測定する金融資産は主にIFRS第9号への移行の影響とリバース・レボ取引活動の増加を受けて406億ポンド増加し、1,447億ポンドとなりました
- 資産合計は本社からの財務活動資産の移管を含め、60億ポンド増加し、8,621億ポンドとなりました
- 預り金(償却原価ベース)は本社からの財務活動負債の統合と預り金の的を絞った大幅な増加を受けて99億ポンド増加し、1,972億ポンドとなりました
- リスク調整後資産は2,107億ポンドと横ばいでした(2017年12月:2,103億ポンド)。コンシューマー、カードおよび決済事業における貸付の増加により、CIBでの減少が相殺されたためです

¹ 市場業務データ出所:コアリション、18年度競合各社速報値分析。順位はパークレイズの内部事業構造に基づき、コアリション・インデックスを基に作成しています。

事業部門別業績

本社

	2018年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2017年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	増減率 (%)
損益計算書関連の情報			
利息収入純額	(781)	(435)	(80)
手数料収入純額およびその他の収益	508	276	84
収益合計	(273)	(159)	(72)
信用に関する減損戻入／(費用)およびその他の引当金繰入額	16	(17)	
営業収益純額	(257)	(176)	(46)
営業コスト	(228)	(277)	18
英国銀行税	(13)	(41)	68
最低保証年金費用	(140)	-	
訴訟および特定行為	(1,597)	(151)	
営業費用合計	(1,978)	(469)	
その他の費用純額	(2)	(189)	99
税引前損失	(2,237)	(834)	
株主帰属損失	(2,205)	(868)	
貸借対照表関連の情報			
	(億ポンド)	(億ポンド)	
資産合計	215	397	
リスク調整後資産	260	318	
期末割当有形株主資本	49	100	
パフォーマンス指標			
平均割当有形株主資本(億ポンド)	31	93	
訴訟および特定行為を除いた場合のパフォーマンス指標¹			
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	増減率 (%)
税引前損失	(640)	(683)	6
株主帰属損失	(647)	(731)	11

1 訴訟および特定行為を除いた場合のパフォーマンス指標に関する情報と計算の詳細については、英語原文の64-72ページをご参照ください。

2018年度と2017年度の比較

損益計算書

- 訴訟および特定行為を除いた場合の税引前損失は6億4,000万ポンドとなりました(2017年度:6億8,300万ポンド)。主にRMBSに関連し米国司法省に支払う和解金14億2,000万ポンドからなる訴訟および特定行為に係る費用15億9,700万ポンド(2017年度:1億5,100万ポンド)を含めると、税引前損失は22億3,700万ポンドとなりました(2017年度:8億3,400万ポンド)
- 収益合計は2億7,300万ポンドの純費用となりました(2017年度:1億5,900万ポンドの純費用)。旧来の資本性商品資金調達費用3億5,100万ポンドおよびヘッジ会計費用を反映しています。これはリーマン・ブラザーズ買収に関連する2018年度第2四半期の受取金の決済に伴う一過性の利益1億5,500万ポンド、財務活動に関連する費用純額の減少、アブサ・グループ・リミテッド配当収益の増加、レガシー金融商品の時価評価益により一部相殺されました
- 訴訟および特定行為ならびに最低保証年金費用を除いた場合の営業費用は2億4,100万ポンドに減少しました(2017年度:3億1,800万ポンド)。レガシーノンコア資産および事業に関連する費用の減少と銀行税の減少を受けています。営業費用合計19億7,800万ポンド(2017年度:4億6,900万ポンド)は訴訟および特定行為に係る費用15億9,700万ポンド(2017年度:1億5,100万ポンド)ならびにパークレイズ・バンク UKRF 加入者の債務の均等化に関連する最低保証年金費用1億4,000万ポンドを含みます
- その他の費用純額は200万ポンドとなりました(2017年度:1億8,900万ポンド)。パークレイズ・バンク・エジプトの売却に伴い為替換算再評価差額を損益計算書上の損益に振り替えたことにより2017年度第2四半期に計上した費用1億8,000万ポンドが当期には発生しなかったことを受けています

貸借対照表

- 資産合計は215億ポンドに減少しました(2017年12月:397億ポンド)。構造改革の一環としてパークレイズ UK およびパークレイズ・インターナショナルに財務活動資産を移管したことを反映しています
- リスク調整後資産は260億ポンドに減少しました(2017年12月:318億ポンド)。BAGLの規制上の非連結化に伴う純減少を反映しています

四半期業績の要約

パークレイズ・グループ

	2018年度 第4四半期	2018年度 第3四半期	2018年度 第2四半期	2018年度 第1四半期	2017年度 第4四半期	2017年度 第3四半期	2017年度 第2四半期 ¹	2017年度 第1四半期 ¹
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
損益計算書関連の情報								
利息収入純額	2,296	2,388	2,190	2,188	2,272	2,475	2,579	2,519
手数料収入純額およびその他の収益	2,777	2,741	3,386	3,170	2,750	2,698	2,479	3,304
収益合計	5,073	5,129	5,576	5,358	5,022	5,173	5,058	5,823
信用に関する減損費用および その他の引当金繰入額	(643)	(254)	(283)	(288)	(573)	(709)	(527)	(527)
営業収益純額	4,430	4,875	5,293	5,070	4,449	4,464	4,531	5,296
営業コスト	(3,624)	(3,329)	(3,310)	(3,364)	(3,621)	(3,274)	(3,398)	(3,591)
英国銀行税	(269)	-	-	-	(365)	-	-	-
営業費用	(3,893)	(3,329)	(3,310)	(3,364)	(3,986)	(3,274)	(3,398)	(3,591)
最低保証年金費用	(140)	-	-	-	-	-	-	-
訴訟および特定行為	(60)	(105)	(81)	(1,961)	(383)	(81)	(715)	(28)
営業費用合計	(4,093)	(3,434)	(3,391)	(5,325)	(4,369)	(3,355)	(4,113)	(3,619)
その他の収益／(費用)純額	37	20	(7)	19	13	(2)	241	5
税引前利益／(損失)	374	1,461	1,895	(236)	93	1,107	659	1,682
税金	(145)	(240)	(433)	(304)	(1,138)	(324)	(305)	(473)
継続事業に係る税引後利益／(損失)	229	1,221	1,462	(540)	(1,045)	783	354	1,209
非継続事業に係る税引後損失	-	-	-	-	-	-	(1,537)	(658)

以下に帰属するもの:

親会社の普通株主	(76)	1,002	1,232	(764)	(1,294)	583	(1,401)	190
その他の持分商品保有者	230	176	175	171	181	157	162	139
継続事業に係る非支配持分	75	43	55	53	68	43	59	79
非継続事業に係る非支配持分	-	-	-	-	-	-	(3)	143

貸借対照表関連の情報

	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
資産合計	11,333	11,708	11,496	11,422	11,332	11,493	11,353	12,038
1株当たり正味有形資産価額	262 ペンス	260 ペンス	259 ペンス	251 ペンス	276 ペンス	281 ペンス	284 ペンス	292 ペンス
リスク調整後資産	3,119	3,162	3,193	3,179	3,130	3,243	3,274	3,609
平均英国レパレッジ・エクスポージャー	11,100	11,190	10,818	10,899	10,446	10,351	10,922	11,304

パフォーマンス指標

平均有形株主資本利益率	(0.1%)	9.4%	11.8%	(6.5%)	(10.3%)	5.1%	(11.0%)	1.8%
平均有形株主資本(億ポンド)	443	446	435	442	481	489	493	494
収益に対する費用の比率	81%	67%	61%	99%	87%	65%	81%	62%
貸倒率(ベース・ポイント) ²	77	30	35	36	56	66	49	47
基本的1株当たり(損失)／利益	(0.1 ペンス)	6.1 ペンス	7.5 ペンス	(4.2 ペンス)	(7.3 ペンス)	3.7 ペンス	(8.0 ペンス)	1.3 ペンス

訴訟および特定行為を除いた場合の

パフォーマンス指標³

	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
税引前利益	434	1,566	1,976	1,725	476	1,188	1,374	1,710
株主帰属(損失)／利益	(14)	1,087	1,291	1,166	(943)	660	(698)	209
平均有形株主資本利益率	0.4%	10.2%	12.3%	11.0%	(7.4%)	5.7%	(5.3%)	2.0%
収益に対する費用の比率	79%	65%	59%	63%	79%	63%	67%	62%
基本的1株当たり利益／(損失)	0.3 ペンス	6.6 ペンス	7.8 ペンス	7.1 ペンス	(5.3 ペンス)	4.1 ペンス	(3.8 ペンス)	1.5 ペンス

¹ 業績にはパークレイズ・ノンコアおよびアフリカ・バンキング非継続事業が含まれています。詳細については、英語原文の23-24 ページをご参照ください。

² 比較数値は貸借対照表の表示変更およびIAS 第39号に関連する減損費用前の貸付金総額(償却原価ベース)に基づき算出しています。

³ 訴訟および特定行為を除いた場合のパフォーマンス指標に関する情報と計算の詳細については、英語原文の64-72 ページをご参照ください。

事業部門別四半期業績

パークレイズ UK

	2018年度 第4四半期	2018年度 第3四半期	2018年度 第2四半期	2018年度 第1四半期	2017年度 第4四半期	2017年度 第3四半期	2017年度 第2四半期	2017年度 第1四半期
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
損益計算書関連の情報								
利息収入純額	1,513	1,529	1,493	1,493	1,540	1,501	1,534	1,511
手数料収入純額およびその他の収益	350	367	343	295	330	351	286	330
収益合計	1,863	1,896	1,836	1,788	1,870	1,852	1,820	1,841
信用に関する減損費用および その他の引当金繰入額	(296)	(115)	(214)	(201)	(184)	(201)	(220)	(178)
営業収益純額	1,567	1,781	1,622	1,587	1,686	1,651	1,600	1,663
営業コスト	(1,114)	(988)	(968)	(1,005)	(1,117)	(980)	(974)	(959)
英国銀行税	(46)	-	-	-	(59)	-	-	-
訴訟および特定行為	(15)	(54)	(3)	(411)	(53)	(11)	(699)	4
営業費用合計	(1,175)	(1,042)	(971)	(1,416)	(1,229)	(991)	(1,673)	(955)
その他の(費用)/収益純額	(2)	1	5	(1)	(5)	1	(1)	-
税引前利益/(損失)	390	740	656	170	452	661	(74)	708
株主帰属利益/(損失)	232	500	464	(38)	245	423	(285)	470

	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
貸借対照表関連の情報								
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	1,876	1,867	1,853	1,843	1,838	1,822	1,666	1,645
資産合計	2,497	2,520	2,459	2,352	2,374	2,304	2,034	2,030
顧客預り金(償却原価ベース)	1,973	1,958	1,943	1,920	1,934	1,893	1,874	1,844
預貸率	96%	96%	96%	96%	95%	97%	89%	90%
リスク調整後資産	752	748	750	725	709	700	661	663
期末割当有形株主資本	102	101	102	98	96	95	86	88

パフォーマンス指標

平均割当有形株主資本利益率	9.6%	20.1%	18.8%	(1.1%)	10.7%	18.4%	(12.7%)	21.6%
平均割当有形株主資本(億ポンド)	101	101	101	98	96	94	87	89
収益に対する費用の比率	63%	55%	53%	79%	66%	54%	92%	52%
貸倒率(ベース・ポイント) ¹	61	24	45	43	39	43	52	43
純利ざや	3.20%	3.22%	3.22%	3.27%	3.32%	3.28%	3.70%	3.69%

訴訟および特定行為を除いた場合の

パフォーマンス指標²

	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
税引前利益	405	794	659	581	505	672	625	704
株主帰属利益	244	548	465	373	282	431	406	467
平均割当有形株主資本利益率	10.1%	22.0%	18.8%	15.7%	12.3%	18.7%	19.1%	21.5%
収益に対する費用の比率	62%	52%	53%	56%	63%	53%	54%	52%

¹ 比較数値は貸借対照表の表示変更およびIAS第39号に関連する減損費用前の貸付金総額(償却原価ベース)に基づき算出しています。

² 訴訟および特定行為を除いた場合のパフォーマンス指標に関する情報と計算の詳細については、英語原文の64-72ページをご参照ください。

事業部門別四半期業績

パークレイズ UK の内訳

	2018年度 第4四半期	2018年度 第3四半期	2018年度 第2四半期	2018年度 第1四半期	2017年度 第4四半期	2017年度 第3四半期	2017年度 第2四半期	2017年度 第1四半期
収益合計の内訳	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
パーソナル・バンキング ¹	998	1,021	1,015	972	1,116	1,022	1,033	1,043
パークレイカード・コンシューマーUK	522	551	504	527	445	539	495	498
ビジネス・バンキング ¹	343	324	317	289	309	291	292	300
収益合計	1,863	1,896	1,836	1,788	1,870	1,852	1,820	1,841
信用に関する減損(費用)ノ戻入および その他の引当金繰入額の内訳								
パーソナル・バンキング ¹	(44)	(8)	(49)	(72)	(56)	(57)	(60)	(48)
パークレイカード・コンシューマーUK	(250)	(88)	(139)	(113)	(124)	(145)	(149)	(123)
ビジネス・バンキング ¹	(2)	(19)	(26)	(16)	(4)	1	(11)	(7)
信用に関する減損費用および その他の引当金繰入額合計	(296)	(115)	(214)	(201)	(184)	(201)	(220)	(178)
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)の内訳	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
パーソナル・バンキング ¹	1,460	1,454	1,436	1,421	1,413	1,404	1,386	1,366
パークレイカード・コンシューマーUK	153	153	152	152	164	163	162	161
ビジネス・バンキング ¹	263	260	265	270	261	255	118	118
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)合計	1,876	1,867	1,853	1,843	1,838	1,822	1,666	1,645
顧客預り金(償却原価ベース)の内訳								
パーソナル・バンキング ¹	1,540	1,534	1,529	1,519	1,531	1,521	1,511	1,492
パークレイカード・コンシューマーUK	-	-	-	-	-	-	-	-
ビジネス・バンキング ¹	433	424	414	401	403	372	363	352
顧客預り金(償却原価ベース)合計	1,973	1,958	1,943	1,920	1,934	1,893	1,874	1,844

¹ 2018年度第2四半期にウェルズは、ウェルズ、アントレプレナー&ビジネス・バンキング(現在の名称はビジネス・バンキング)からパーソナル・バンキングに区分を変更しました。比較数値は修正再表示されています。

事業部門別四半期業績

パークレイズ・インターナショナル

	2018年度 第4四半期	2018年度 第3四半期	2018年度 第2四半期	2018年度 第1四半期	2017年度 第4四半期	2017年度 第3四半期	2017年度 第2四半期	2017年度 第1四半期
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
損益計算書関連の情報								
利息収入純額	984	965	853	1,013	987	1,148	1,060	1,112
トレーディング収益純額	837	1,103	1,094	1,416	935	815	1,039	1,182
手数料収入純額およびその他の収益	1,400	1,222	1,760	1,379	1,397	1,352	1,511	1,844
収益合計	3,221	3,290	3,707	3,808	3,319	3,315	3,610	4,138
信用に関する減損費用および その他の引当金繰入額	(354)	(143)	(68)	(93)	(386)	(495)	(279)	(346)
営業収益純額	2,867	3,147	3,639	3,715	2,933	2,820	3,331	3,792
営業コスト	(2,441)	(2,277)	(2,306)	(2,300)	(2,428)	(2,182)	(2,276)	(2,435)
英国銀行税	(210)	-	-	-	(265)	-	-	-
訴訟および特定行為	(33)	(32)	(47)	(15)	(255)	(5)	4	(13)
営業費用合計	(2,684)	(2,309)	(2,353)	(2,315)	(2,948)	(2,187)	(2,272)	(2,448)
その他の収益純額	32	12	11	13	21	19	202	12
税引前利益	215	850	1,297	1,413	6	652	1,261	1,356
株主帰属(損失)/利益	(72)	650	890	973	(1,168)	359	819	837

	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
貸借対照表関連の情報								
貸付金(償却原価ベース)	1,272	1,324	1,255	1,175	1,268	1,344	1,352	1,455
トレーディング・ポートフォリオ資産	1,040	1,246	1,165	1,149	1,130	912	833	830
デリバティブ金融資産	2,221	2,148	2,282	2,141	2,362	2,428	1,084	1,053
デリバティブ金融負債	2,196	2,137	2,249	2,108	2,378	2,429	1,168	1,128
損益計算書を通じて公正価値で測定する 金融資産	1,447	1,478	1,412	1,506	1,041	1,037	941	813
資産合計	8,621	9,002	8,865	8,666	8,561	8,671	6,816	6,772
預り金(償却原価ベース)	1,972	2,003	1,910	1,672	1,873	1,919	1,920	1,894
預貸率	65%	66%	66%	70%	68%	70%	70%	77%
リスク調整後資産	2,107	2,146	2,180	2,142	2,103	2,182	2,122	2,143
期末割当有形株主資本	299	302	305	300	275	280	268	271

パフォーマンス指標

平均割当有形株主資本利益率	(0.3%)	8.8%	11.8%	13.4%	(15.9%)	5.4%	12.4%	12.5%
平均割当有形株主資本(億ポンド)	313	311	314	301	285	289	274	277
収益に対する費用の比率	83%	70%	63%	61%	89%	66%	63%	59%
貸倒率(ベース・ポイント) ¹	107	41	22	31	76	88	54	62
純利ざや	3.98%	3.87%	4.03%	4.57%	4.31%	4.21%	4.07%	4.06%

訴訟および特定行為を除いた場合の

	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
パフォーマンス指標²								
税引前利益	248	882	1,344	1,428	261	657	1,257	1,369
株主帰属(損失)/利益	(38)	676	924	985	(918)	363	816	846
平均割当有形株主資本利益率	0.2%	9.2%	12.2%	13.6%	(12.4%)	5.5%	12.3%	12.6%
収益に対する費用の比率	82%	69%	62%	60%	81%	66%	63%	59%

¹ 比較数値は貸借対照表の表示変更およびIAS第39号に関連する減損費用前の貸付金総額(償却原価ベース)に基づき算出しています。

² 訴訟および特定行為を除いた場合のパフォーマンス指標に関する情報と計算の詳細については、英語原文の64-72ページをご参照ください。

事業部門別四半期業績

パークレイズ・インターナショナルの内訳

コーポレート・アンド・

インベストメント・バンク(CIB)

損益計算書関連の情報

	2018年度 第4四半期	2018年度 第3四半期	2018年度 第2四半期	2018年度 第1四半期	2017年度 第4四半期	2017年度 第3四半期	2017年度 第2四半期	2017年度 第1四半期
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
債券・為替・商品(FICC)	570	688	736	869	607	627	752	889
株式	375	471	601	590	362	350	455	462
市場	945	1,159	1,337	1,459	969	977	1,207	1,351
バンキング手数料	625	519	704	683	605	607	674	726
コーポレート貸付	243	197	198	240	269	277	278	269
トランザクション・バンキング	412	416	385	414	408	419	404	398
バンキング	1,280	1,132	1,287	1,337	1,282	1,303	1,356	1,393
その他	(74)	(56)	(44)	3	1	-	1	38
収益合計	2,151	2,235	2,580	2,799	2,252	2,280	2,564	2,782
信用に関する減損(費用)／戻入および その他の引当金繰入額	(35)	3	23	159	(127)	(36)	1	(51)
営業収益純額	2,116	2,238	2,603	2,958	2,125	2,244	2,565	2,731
営業費用	(2,023)	(1,712)	(1,773)	(1,773)	(2,129)	(1,656)	(1,760)	(1,930)
訴訟および特定行為	(23)	(32)	-	(13)	(255)	(5)	4	(11)
営業費用合計	(2,046)	(1,744)	(1,773)	(1,786)	(2,384)	(1,661)	(1,756)	(1,941)
その他の収益純額	15	4	5	3	7	10	116	-
税引前利益／(損失)	85	498	835	1,175	(252)	593	925	790

貸借対照表関連の情報

	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
貸付金(償却原価ベース)	864	933	878	813	882	954	967	1,068
預り金(償却原価ベース)	1,363	1,376	1,303	1,076	1,280	1,334	1,341	1,310
リスク調整後資産	1,709	1,759	1,804	1,813	1,762	1,852	1,789	1,806

パフォーマンス指標

平均割当有形株主資本利益率	(1.3%)	6.6%	9.1%	13.0%	(20.2%)	5.9%	11.1%	8.2%
平均割当有形株主資本(億ポンド)	260	259	264	256	243	248	233	235

訴訟および特定行為を除いた場合の

パフォーマンス指標¹

	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
税引前利益	108	530	835	1,188	3	598	921	801
平均割当有形株主資本利益率	(0.9%)	7.0%	9.1%	13.2%	(16.1%)	6.0%	11.1%	8.3%

¹ 訴訟および特定行為を除いた場合のパフォーマンス指標に関する情報と計算の詳細については、英語原文の64-72ページをご参照ください。

事業部門別四半期業績

パークレイズ・インターナショナルの内訳

コンシューマー、カードおよび

決済事業

損益計算書関連の情報

	2018年度 第4四半期	2018年度 第3四半期	2018年度 第2四半期	2018年度 第1四半期	2017年度 第4四半期	2017年度 第3四半期	2017年度 第2四半期	2017年度 第1四半期
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
収益合計	1,070	1,055	1,127	1,009	1,067	1,035	1,046	1,356
信用に関する減損費用および その他の引当金繰入額	(319)	(146)	(91)	(252)	(259)	(459)	(280)	(295)
営業収益純額	751	909	1,036	757	808	576	766	1,061
営業費用	(628)	(565)	(533)	(527)	(564)	(526)	(516)	(505)
訴訟および特定行為	(10)	-	(47)	(2)	-	-	-	(2)
営業費用合計	(638)	(565)	(580)	(529)	(564)	(526)	(516)	(507)
その他の収益純額	17	8	6	10	14	9	86	12
税引前利益	130	352	462	238	258	59	336	566

貸借対照表関連の情報

	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
貸付金(償却原価ベース)	408	391	377	362	386	390	385	387
預り金(償却原価ベース)	609	627	607	596	593	585	579	584
リスク調整後資産	398	387	376	329	341	330	333	337

パフォーマンス指標

平均割当有形株主資本利益率	4.8%	19.8%	26.2%	15.6%	8.9%	2.2%	19.4%	36.4%
平均割当有形株主資本(億ポンド)	53	52	50	45	42	42	41	42

訴訟および特定行為を除いた場合の

パフォーマンス指標¹

	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
税引前利益	140	352	509	240	258	59	336	568
平均割当有形株主資本利益率	5.4%	19.9%	28.9%	15.7%	9.0%	2.2%	19.4%	36.5%

¹ 訴訟および特定行為を除いた場合のパフォーマンス指標に関する情報と計算の詳細については、英語原文の64-72ページをご参照ください。

事業部門別四半期業績

本社

	2018年度 第4四半期	2018年度 第3四半期	2018年度 第2四半期	2018年度 第1四半期	2017年度 第4四半期	2017年度 第3四半期	2017年度 第2四半期	2017年度 第1四半期
損益計算書関連の情報								
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
利息収入純額	(201)	(106)	(156)	(318)	(254)	(174)	108	(115)
手数料収入純額およびその他の収益	190	49	189	80	87	180	(24)	33
収益合計	(11)	(57)	33	(238)	(167)	6	84	(82)
信用に関する減損戻入／(費用)および その他の引当金繰入額	7	4	(1)	6	(3)	(13)	(1)	-
営業(費用)／収益純額	(4)	(53)	32	(232)	(170)	(7)	83	(82)
営業コスト	(69)	(64)	(36)	(59)	(76)	(112)	(40)	(49)
英国銀行税	(13)	-	-	-	(41)	-	-	-
最低保証年金費用	(140)	-	-	-	-	-	-	-
訴訟および特定行為	(12)	(19)	(31)	(1,535)	(75)	(65)	(1)	(10)
営業費用合計	(234)	(83)	(67)	(1,594)	(192)	(177)	(41)	(59)
その他の収益／(費用)純額	7	7	(23)	7	(3)	(22)	(164)	-
税引前損失	(231)	(129)	(58)	(1,819)	(365)	(206)	(122)	(141)
株主帰属損失	(236)	(148)	(122)	(1,699)	(371)	(199)	(175)	(123)
貸借対照表関連の情報								
	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
資産合計	215	186	172	404	397	517	173	745
リスク調整後資産	260	268	263	312	318	361	262	529
期末割当有形株主資本	49	42	36	30	100	104	90	88
パフォーマンス指標								
平均割当有形株主資本(億ポンド)	29	34	20	43	100	105	88	76
訴訟および特定行為を除いた場合の パフォーマンス指標¹								
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
税引前損失	(219)	(110)	(27)	(284)	(290)	(141)	(121)	(131)
株主帰属損失	(220)	(137)	(98)	(192)	(307)	(134)	(174)	(116)

¹ 訴訟および特定行為を除いた場合のパフォーマンス指標に関する情報と計算の詳細については、英語原文の64-72ページをご参照ください。

バークレイズ・ノンコアの業績

バークレイズ・ノンコア部門は 2017 年 7 月 1 日付で閉鎖されました。残余資産および負債はバークレイズ UK、バークレイズ・インターナショナル、本社に再統合され、その後、関連する財務業績はこれらの部門で報告されています。2017 年 6 月 30 日までの財務業績はバークレイズ・グループ業績のノンコア部門に反映されています。

バークレイズ・ノンコア

	2018 年 12 月 31 日に 終了した年度 (百万ポンド)	2017 年 12 月 31 日に 終了した年度 (百万ポンド)
損益計算書関連の情報		
利息収入純額	-	(112)
トレーディング収益純額	-	(488)
手数料収入純額およびその他の収益	-	70
収益合計	-	(530)
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	-	(30)
営業費用純額	-	(560)
営業費用	-	(256)
訴訟および特定行為	-	(28)
営業費用合計	-	(284)
その他の収益純額	-	197
税引前損失	-	(647)
株主帰属損失	-	(419)

	2018 年度 第 4 四半期 (百万ポンド)	2018 年度 第 3 四半期 (百万ポンド)	2018 年度 第 2 四半期 (百万ポンド)	2018 年度 第 1 四半期 (百万ポンド)	2017 年度 第 4 四半期 (百万ポンド)	2017 年度 第 3 四半期 (百万ポンド)	2017 年度 第 2 四半期 (百万ポンド)	2017 年度 第 1 四半期 (百万ポンド)
損益計算書関連の情報								
利息収入純額	-	-	-	-	-	-	(123)	11
トレーディング収益純額	-	-	-	-	-	-	(411)	(77)
手数料収入純額およびその他の収益	-	-	-	-	-	-	78	(8)
収益合計	-	-	-	-	-	-	(456)	(74)
信用に関する減損費用および その他の引当金繰入額	-	-	-	-	-	-	(27)	(3)
営業費用純額	-	-	-	-	-	-	(483)	(77)
営業費用	-	-	-	-	-	-	(108)	(148)
訴訟および特定行為	-	-	-	-	-	-	(19)	(9)
営業費用合計	-	-	-	-	-	-	(127)	(157)
その他の収益／(費用)純額	-	-	-	-	-	-	204	(7)
税引前損失	-	-	-	-	-	-	(406)	(241)
税金還付	-	-	-	-	-	-	207	75
税引後損失	-	-	-	-	-	-	(199)	(166)
非支配持分	-	-	-	-	-	-	(8)	(9)
その他の持分商品保有者	-	-	-	-	-	-	(19)	(18)
株主帰属損失	-	-	-	-	-	-	(226)	(193)

	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
貸借対照表関連の情報								
銀行および顧客に対する貸付金 (償却原価ベース)	-	-	-	-	-	-	483	495
デリバティブ金融資産	-	-	-	-	-	-	1,503	1,642
デリバティブ金融負債	-	-	-	-	-	-	1,430	1,553
公正価値で測定すると指定された金融資産	-	-	-	-	-	-	121	134
資産合計	-	-	-	-	-	-	2,330	2,491
顧客預り金	-	-	-	-	-	-	118	129
リスク調整後資産	-	-	-	-	-	-	228	274

非継続事業の業績

2017年にパークレイズ・アフリカ・グループ・リミテッド(BAGL)に対するパークレイズ・グループの持分を削減した結果、パークレイズが2018年度において引き続き保有する14.9%の持分は、本社部門においてその他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産として計上され、アブサ・グループ・リミテッドの配当金に対するパークレイズの持分は本社部門の損益計算書上で認識されています。

アフリカ・バンキング

	2018年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2017年 12月31日に 終了した年度 ¹ (百万ポンド)
損益計算書関連の情報		
利息収入純額	-	1,024
手数料収入純額およびその他の収益	-	762
収益合計	-	1,786
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	-	(177)
営業収益純額	-	1,609
パークレイズの BAGL 持分の減損を除く営業費用	-	(1,130)
BAGL 売却に係る損失を除くその他の収益純額	-	5
パークレイズの BAGL 持分の減損および BAGL 売却に係る損失を除く税引前利益	-	484
パークレイズの BAGL 持分の減損	-	(1,090)
BAGL 売却に係る損失	-	(1,435)
税引前損失	-	(2,041)
税金	-	(154)
税引後損失	-	(2,195)
株主帰属損失	-	(2,335)

¹ アフリカ・バンキングの損益計算書は2017年5月31日までの5ヵ月間の非継続事業としての業績を表します。

	2018年度 第4四半期 (百万ポンド)	2018年度 第3四半期 (百万ポンド)	2018年度 第2四半期 (百万ポンド)	2018年度 第1四半期 (百万ポンド)	2017年度 第4四半期 (百万ポンド)	2017年度 第3四半期 (百万ポンド)	2017年度 第2四半期 ¹ (百万ポンド)	2017年度 第1四半期 (百万ポンド)
損益計算書関連の情報								
利息収入純額	-	-	-	-	-	-	407	617
手数料収入純額およびその他の収益	-	-	-	-	-	-	297	465
収益合計	-	-	-	-	-	-	704	1,082
信用に関する減損費用および その他の引当金繰入額	-	-	-	-	-	-	(71)	(106)
営業収益純額	-	-	-	-	-	-	633	976
パークレイズの BAGL 持分の減損を除く営業費用	-	-	-	-	-	-	(477)	(653)
BAGL 売却に係る損失を除くその他の 収益純額	-	-	-	-	-	-	3	2
パークレイズの BAGL 持分の減損および BAGL 売却に係る損失を除く税引前利益	-	-	-	-	-	-	159	325
パークレイズの BAGL 持分の減損	-	-	-	-	-	-	(206)	(884)
BAGL 売却に係る損失	-	-	-	-	-	-	(1,435)	-
税引前損失	-	-	-	-	-	-	(1,482)	(559)
税引後損失	-	-	-	-	-	-	(1,537)	(658)
株主帰属損失	-	-	-	-	-	-	(1,534)	(801)
貸借対照表関連の情報								
資産合計	-	-	-	-	-	-	-	660
リスク調整後資産	-	-	-	-	-	-	98	413

¹ アフリカ・バンキングの損益計算書は2017年5月31日までの2ヵ月間の非継続事業としての業績を表します。

利ざやおよび残高

2018年12月31日に終了した年度

2017年12月31日に終了した年度

	利息収入純額 (百万ポンド)	平均顧客資産 (百万ポンド)	純利ざや %	利息収入純額 (百万ポンド)	平均顧客資産 (百万ポンド)	純利ざや %
パークレイズ UK	6,028	186,881	3.23	6,086	174,484	3.49
パークレイズ・インターナショナル ¹	3,966	96,434	4.11	4,326	104,039	4.16
パークレイズ UK および パークレイズ・インターナショナル合計	9,994	283,315	3.53	10,412	278,523	3.74
その他 ²	(932)			(567)		
パークレイズ・グループ合計	9,062			9,845		

1 パークレイズ・インターナショナルの利ざやにはインベストメント・バンキング(CIB)事業における利付き貸付金残高が含まれています。

2 その他には本社およびインベストメント・バンキング(CIB)事業における非利付き貸付金残高が含まれています。パークレイズ・ノンコアは比較期間の1-6月期のみに含まれています。

純利ざやは21ベーシス・ポイント低下して3.53%となりました。これは教育・社会的住宅供給・地方自治体(ESHLA)ポートフォリオを2017年7月1日付で統合したことによる通年の影響、担保付貸付の伸びによる構成の変化、およびリングフェンシングによる特定の資産運用収益の(利息収入純額から非利息収入への)再分類を主に反映しています。グループの利息収入純額は8%減少して91億ポンドとなりました。これには構造的ヘッジの寄与総額17億ポンド(2017年:17億ポンド)が含まれます。

パークレイズ UK およびパークレイズ・インターナショナルの四半期分析

	利息収入純額 (百万ポンド)	平均顧客資産 (百万ポンド)	純利ざや ¹ %
2018年12月31日に終了した3ヵ月間			
パークレイズ UK	1,513	187,813	3.20
パークレイズ・インターナショナル ²	994	99,137	3.98
パークレイズ UK およびパークレイズ・インターナショナルの合計	2,507	286,950	3.47
2018年9月30日に終了した3ヵ月間			
パークレイズ UK	1,529	188,239	3.22
パークレイズ・インターナショナル ²	945	96,785	3.87
パークレイズ UK およびパークレイズ・インターナショナルの合計	2,474	285,024	3.44
2018年6月30日に終了した3ヵ月間			
パークレイズ UK	1,493	186,053	3.22
パークレイズ・インターナショナル ²	962	95,728	4.03
パークレイズ UK およびパークレイズ・インターナショナルの合計	2,455	281,781	3.49
2018年3月31日に終了した3ヵ月間			
パークレイズ UK	1,493	185,351	3.27
パークレイズ・インターナショナル ²	1,065	94,530	4.57
パークレイズ UK およびパークレイズ・インターナショナルの合計	2,558	279,881	3.71
2017年12月31日に終了した3ヵ月間			
パークレイズ UK	1,540	184,058	3.32
パークレイズ・インターナショナル ²	1,071	98,500	4.31
パークレイズ UK およびパークレイズ・インターナショナルの合計	2,611	282,558	3.67

1 グループの資産運用成績はリングフェンシングによりパークレイズ UK およびパークレイズ・インターナショナルにて直接報告され、これにより特定の活動から生じる損益はその他の収益として認識されています。これらの金額は従来、移転価格を通じて利息収入純額および純利ざやに含まれていました。

2 パークレイズ・インターナショナルの利ざやにはインベストメント・バンキング(CIB)事業における利付き貸付金残高が含まれています。

報酬

繰延賞与は従業員が特定期間の勤務を含む一定の条件を満たした場合に限り支払われます。このため、賞与プールの情報と損益計算書上の計上額との間に期間差異が発生します。報酬コストの計上額への調整は以下の表の通りです。2016年には、グループ全体の報奨体系の繰延構造との調和を図ることを目的として繰延される賞与の割合が変更され、繰延賞与が修正されました。この結果、次のページの表に示す通り、損益計算書に計上される報酬の割合が上昇しました。こうした変更の総合的な影響により2016年の計上額は3億9,500万ポンド増加しましたが、2017年と2018年の影響額はより小さくなりました。こうした変更は付与された報奨額と損益計算書計上額の整合性を高めることを目的としています。報酬の詳細はパークレイズ・ピールシー英文年次報告書99～126ページの報酬に関する報告書をご参照ください。下表は報酬コストと人件費のその他の項目について示しています。

	2018年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2017年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	増減率 (%)
報奨付与:			
当年度賞与	1,067	990	(8)
繰延賞与	515	442	(17)
販売手数料およびその他のインセンティブ	67	74	9
報奨付与合計	1,649	1,506	(9)
報奨付与合計額から損益計算書計上額への調整			
控除: 当期に付与された費用計上されていない繰延賞与	(359)	(302)	(19)
加算: 過年度からの繰延賞与の当期費用計上額	299	457	35
報奨付与額と損益計算書計上額との差額	(33)	29	231
報酬コストの損益計算書計上額	1,556	1,690	8
その他の損益計算書計上額:			
給与	4,200	3,982	(5)
社会保障費	558	580	4
退職後給付	619	493	(26)
その他の報酬費用	413	378	(9)
報酬費用合計¹	7,346	7,123	(3)
その他の人材調達費用 ²	1,283	1,437	11
人件費合計	8,629	8,560	(1)
収益に対するグループ報酬比率^{3,4}	34.1	33.8	
収益に対するグループ人件費⁴	40.2	40.6	

1 この他、ソフトウェア自社開発にかかるグループ報酬2億9,600万ポンド(2017年:3億1,200万ポンド)が資産計上されています。

2 その他の人材調達費用には、アウトソーシング、人員削減および事業再編費用、その他臨時従業員費用が含まれています。

3 コーポレート・アンド・インベストメント・バンク(CIB)の収益合計のうちフロント・オフィスの報酬比率は25.6%でした(2017年:25.5%)。

4 退職後給付の最低保証年金に関連する1億4,000万ポンドを含みません。

業績管理

これまでに付与された繰延賞与は、下表に示される年度において損益計算書に計上されることが予想されています。

損益計算書にこれまで付与されてきた繰延賞与の費用計上が予想される年度¹

	実績		予想 ^{1,2}	
	2017年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2018年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2019年 12月31日に 終了する年度 (百万ポンド)	2020年 12月31日に 終了する年度以降 (百万ポンド)
2015年およびそれ以前の賞与プールからの繰延賞与	298	82	9	-
2016年の賞与プールからの繰延賞与	159	87	40	7
2017年の賞与プールからの繰延賞与	140	130	67	41
2018年の賞与プールからの繰延賞与	-	156	164	114
損益計算書に費用計上される繰延賞与	597	455	280	162

¹ 実際の計上額は条件が満たされているか否かに影響され、上記の予想とは異なります。

² 2019年以降に実施される予定の付与の影響を含みません。

繰延賞与の費用計上の特性¹

付与日	予想支払日 ²	年度	損益計算書への費用計上の特性 ³	
			2018年 報奨	2016年以前 報奨
2019年3月		2018	35%	0%
		2019	34%	48%
	2020年3月(33.3%)	2020	21%	35%
	2021年3月(33.3%)	2021	9%	15%
	2022年3月(33.3%)	2022	1%	2%

¹ 繰延報奨の一般的な権利確定スケジュールを表します。特定の報奨は規制要件に沿って5~7年繰延される可能性があります。

² 株式報奨は追加の保有期間が要求される可能性があります。

³ 損益計算書上の費用計上は条件が満たされる年度に認識されます。

リスク管理

リスク管理および主要リスク

バークレイズ・グループのリスク管理における事業グループの役割と責任、リスクおよび法令順守は全社的リスク管理フレームワークで定義されています。フレームワークの目的はバークレイズ・グループの主要リスクや、事業活動におけるリスク選好度を決定するバークレイズ・グループのプロセス、およびその結果として関連するリスク・テイクングに関して設定する上限を特定することです。フレームワークは信用リスク、市場リスク、財務および資本リスク、オペレーショナル・リスク、コンダクト・リスク、レピュテーション・リスク、モデル・リスクおよび法的リスクの 8 つの主要リスクを特定しています。これらリスクの詳細ならびに管理手法については、バークレイズ・ピーエルシー2018 年年次報告書またはウェブサイト(home.barclays/investor-relations/reports-and-events/annual-reports)をご覧ください。

当期における信用リスク、市場リスク、財務および資本リスクの概要は以下のセクションをご参照ください。

信用リスク

ステージ別の貸付金(償却原価ベース)(監査済)

下表は、2018年12月31日現在のステージおよび事業セグメント別の貸付金(償却原価ベース)のエクスポージャー総額、減損引当金、減損費用およびカバーレージ比率の内訳を示しています。また、2018年12月31日現在のステージ別のエクスポージャー総額、減損引当金、カバーレージ比率の内訳にはオフ・バランスシートのローン・コミットメントおよび金融保証契約が含まれています。パークレイズは当期末時点で購入または組成した信用に関する大規模な減損資産を保有していません。

	エクスポージャー総額				減損引当金				エクスポージャー純額 (百万ポンド)
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	
2018年12月31日現在	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
パークレイズ UK	134,911	25,279	3,040	163,230	183	1,389	1,152	2,724	160,506
パークレイズ・インターナショナル 本社	26,714	4,634	1,830	33,178	352	965	1,315	2,632	30,546
	6,510	636	938	8,084	9	47	306	362	7,722
パークレイズ・グループ・ リテール合計	168,135	30,549	5,808	204,492	544	2,401	2,773	5,718	198,774
パークレイズ UK	22,824	4,144	1,272	28,240	16	70	117	203	28,037
パークレイズ・インターナショナル 本社	87,344	8,754	1,382	97,480	128	244	439	811	96,669
	2,923	-	41	2,964	-	-	38	38	2,926
パークレイズ・グループ・ ホールセール合計	113,091	12,898	2,695	128,684	144	314	594	1,052	127,632
貸付金合計(償却原価ベース)	281,226	43,447	8,503	333,176	688	2,715	3,367	6,770	326,406
オフ・バランスシートのローン・ コミットメントおよび金融保証契約 ¹	309,989	22,126	684	332,799	99	150	22	271	332,528
合計²	591,215	65,573	9,187	665,975	787	2,865	3,389	7,041	658,934

	2018年12月31日現在 カバーレージ比率				2018年12月31日に終了した年度 貸付金に係る減損費用および貸倒率	
	ステージ1 (%)	ステージ2 (%)	ステージ3 (%)	合計 (%)	貸付金に係る 減損費用 (百万ポンド)	貸倒率 (ベース・ポイント)
パークレイズ UK	0.1	5.5	37.9	1.7	830	51
パークレイズ・インターナショナル 本社	1.3	20.8	71.9	7.9	844	254
	0.1	7.4	32.6	4.5	15	19
パークレイズ・グループ・ リテール合計	0.3	7.9	47.7	2.8	1,689	83
パークレイズ UK	0.1	1.7	9.2	0.7	74	26
パークレイズ・インターナショナル 本社	0.1	2.8	31.8	0.8	(142)	-
	-	-	92.7	1.3	(31)	-
パークレイズ・グループ・ ホールセール合計	0.1	2.4	22.0	0.8	(99)	-
貸付金合計(償却原価ベース)	0.2	6.2	39.6	2.0	1,590	48
オフ・バランスシートのローン・ コミットメントおよび金融保証契約 ¹	-	0.7	3.2	0.1	(125)	
減損の対象となるその他の 金融資産					3	
合計	0.1	4.4	36.9	1.1	1,468	

1 公正価値で測定するローン・コミットメントおよび金融保証117億ポンドを含みません。

2 上表に含まれていない減損の対象となるその他の金融資産には、現金担保および決済残高、その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産ならびにその資産が含まれます。これらのエクスポージャー総額の合計は1,299億ポンド、減損引当金は1,200万ポンドです。これはその他の包括利益資産を通じて公正価値で測定するステージ1資産1,293億ポンドに係る予想信用損失(ECL)1,000万ポンド、およびステージ2資産6億ポンドに係るECL200万ポンドで構成されています。

信用リスク

	エクスポージャー総額				減損引当金				エクスポージャー 純額
	ステージ 1 (百万ポンド)	ステージ 2 (百万ポンド)	ステージ 3 (百万ポンド)	合計 (百万ポンド)	ステージ 1 (百万ポンド)	ステージ 2 (百万ポンド)	ステージ 3 (百万ポンド)	合計 (百万ポンド)	
2018年1月1日現在									
パークレイズ UK	129,837	25,798	3,152	158,787	142	1,310	1,142	2,594	156,193
パークレイズ・インターナショナル 本社	22,427 6,498	7,051 1,596	1,466 952	30,944 9,046	292 8	1,298 62	1,080 294	2,670 364	28,274 8,682
パークレイズ・グループ・ リテール合計	158,762	34,445	5,570	198,777	442	2,670	2,516	5,628	193,149
パークレイズ UK	22,835	3,880	1,092	27,807	25	88	114	227	27,580
パークレイズ・インターナショナル 本社	75,331 8,689	11,128 139	2,345 74	88,804 8,902	139 2	349 5	694 58	1,182 65	87,622 8,837
パークレイズ・グループ・ ホールセール合計	106,855	15,147	3,511	125,513	166	442	866	1,474	124,039
貸付金合計(償却原価ベース)	265,617	49,592	9,081	324,290	608	3,112	3,382	7,102	317,188
オフ・バランスシートのローン・ コミットメントおよび金融保証契約 ¹	275,364	38,867	1,442	315,673	133	259	28	420	315,253
合計²	540,981	88,459	10,523	639,963	741	3,371	3,410	7,522	632,441

	カバレッジ比率			
	ステージ 1 (%)	ステージ 2 (%)	ステージ 3 (%)	合計 (%)
2018年1月1日現在				
パークレイズ UK	0.1	5.1	36.2	1.6
パークレイズ・インターナショナル 本社	1.3 0.1	18.4 3.9	73.7 30.9	8.6 4.0
パークレイズ・グループ・ リテール合計	0.3	7.8	45.2	2.8
パークレイズ UK	0.1	2.3	10.4	0.8
パークレイズ・インターナショナル 本社	0.2 -	3.1 3.6	29.6 78.4	1.3 0.7
パークレイズ・グループ・ ホールセール合計	0.2	2.9	24.7	1.2
貸付金合計(償却原価ベース)	0.2	6.3	37.2	2.2
オフ・バランスシートのローン・ コミットメントおよび金融保証契約 ¹	-	0.7	1.9	0.1
合計	0.1	3.8	32.4	1.2

¹ 公正価値で測定するローン・コミットメントおよび金融保証 189 億ポンドを含みません。

² 上表に含まれていない減損の対象となるその他の金融資産には、現金担保および決済残高、その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産ならびにその他資産が含まれます。これらのエクスポージャー総額の合計は 1,281 億ポンド、減損引当金は 900 万ポンドです。

信用リスク

商品別の貸付金(償却原価ベース)(監査済)

下表は、資産分類別のステージごとの貸付金(償却原価ベース)および減損引当金の内訳を示しています。

2018年12月31日現在	ステージ1	ステージ2			合計	ステージ3	合計
		期日 未到来	30日以上 延滞	30日未満 延滞			
エクスポージャー総額	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
住宅ローン	130,066	15,672	1,672	862	18,206	2,476	150,748
クレジットカード、無担保ローンおよびその他のリテール貸付	45,785	11,262	530	437	12,229	3,760	61,774
コーポレート・ローン	105,375	12,177	360	475	13,012	2,267	120,654
合計	281,226	39,111	2,562	1,774	43,447	8,503	333,176
減損引当金							
住宅ローン	31	56	13	13	82	351	464
クレジットカード、無担保ローンおよびその他のリテール貸付	528	1,895	169	240	2,304	2,511	5,343
コーポレート・ローン	129	300	16	13	329	505	963
合計	688	2,251	198	266	2,715	3,367	6,770
エクスポージャー純額							
住宅ローン	130,035	15,616	1,659	849	18,124	2,125	150,284
クレジットカード、無担保ローンおよびその他のリテール貸付	45,257	9,367	361	197	9,925	1,249	56,431
コーポレート・ローン	105,246	11,877	344	462	12,683	1,762	119,691
合計	280,538	36,860	2,364	1,508	40,732	5,136	326,406
カバレッジ比率	%	%	%	%	%	%	%
住宅ローン	-	0.4	0.8	1.5	0.5	14.2	0.3
クレジットカード、無担保ローンおよびその他のリテール貸付	1.2	16.8	31.9	54.9	18.8	66.8	8.6
コーポレート・ローン	0.1	2.5	4.4	2.7	2.5	22.3	0.8
合計	0.2	5.8	7.7	15.0	6.2	39.6	2.0
2018年1月1日現在							
エクスポージャー総額	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
住宅ローン	125,224	17,108	1,612	604	19,324	2,425	146,973
クレジットカード、無担保ローンおよびその他のリテール貸付	40,482	13,562	702	502	14,766	3,544	58,792
コーポレート・ローン	99,911	14,534	407	561	15,502	3,112	118,525
合計	265,617	45,204	2,721	1,667	49,592	9,081	324,290
減損引当金							
住宅ローン	38	77	10	13	100	326	464
クレジットカード、無担保ローンおよびその他のリテール貸付	441	2,086	203	245	2,534	2,291	5,266
コーポレート・ローン	129	444	22	12	478	765	1,372
合計	608	2,607	235	270	3,112	3,382	7,102
エクスポージャー純額							
住宅ローン	125,186	17,031	1,602	591	19,224	2,099	146,509
クレジットカード、無担保ローンおよびその他のリテール貸付	40,041	11,476	499	257	12,232	1,253	53,526
コーポレート・ローン	99,782	14,090	385	549	15,024	2,347	117,153
合計	265,009	42,597	2,486	1,397	46,480	5,699	317,188
カバレッジ比率	%	%	%	%	%	%	%
住宅ローン	-	0.5	0.6	2.2	0.5	13.4	0.3
クレジットカード、無担保ローンおよびその他のリテール貸付	1.1	15.4	28.9	48.8	17.2	64.6	9.0
コーポレート・ローン	0.1	3.1	5.4	2.1	3.1	24.6	1.2
合計	0.2	5.8	8.6	16.2	6.3	37.2	2.2

全体のカバレッジ比率は2.2%から2.0%に低下しました。これはコーポレート貸付におけるステージ3のシングルネームのエクスポージャーが減少したことを主に反映しています。

クレジットカード、無担保ローンおよびその他のリテール貸付のカバレッジ比率は9.0%から8.6%に低下しました。これは、ECL水準が低いステージ1残高の増加、および英国経済の先行き不透明感を踏まえた調整を含むステージ2の増加によるものです。

ステージ3の住宅ローンおよびコーポレート・ローンのカバレッジ比率は、これらのエクスポージャーが性質上担保付であることを反映し、相対的に低水準となりました。

信用リスク

エクスポージャー総額および減損引当金(ローン・コミットメントおよび金融保証に係る引当金を含む)の変動(監査済)

下表は、エクスポージャーおよび減損引当金の期首残高から期末残高への調整を示しています。12 カ月予想信用損失(ECL)、存続期間のECL、信用減損の用語説明はパークレイズ・グループ英文 2018 年年次報告書 273 ページをご参照ください。

貸付金(償却原価ベース)に係るエクスポージャー総額(監査済)

	ステージ 1 (百万ポンド)	ステージ 2 (百万ポンド)	ステージ 3 (百万ポンド)	合計 (百万ポンド)
2018 年 1 月 1 日現在	265,617	49,592	9,081	324,290
ステージ間の振替純額	1,385	(3,602)	2,217	-
当年度の事業活動	74,419	2,680	374	77,473
-うち、パークレイズ UK	29,467	1,493	326	31,286
-うち、パークレイズ・インターナショナル	42,346	1,164	44	43,554
資金引き出しおよび返済純額	(13,140)	136	162	(12,842)
-うち、パークレイズ UK	(10,269)	(980)	(322)	(11,571)
-うち、パークレイズ・インターナショナル	(1,305)	1,348	561	604
	(41,946)	(5,359)	(1,071)	(48,376)
-うち、パークレイズ UK	(11,728)	(1,753)	(478)	(13,959)
-うち、パークレイズ・インターナショナル	(29,421)	(3,520)	(549)	(33,490)
処分	(5,109)	-	(369)	(5,478)
償却	-	-	(1,891)	(1,891)
2018 年 12 月 31 日現在 ¹	281,226	43,447	8,503	333,176

貸付金(償却原価ベース)に係る減損引当金(監査済)

	ステージ 1 (百万ポンド)	ステージ 2 (百万ポンド)	ステージ 3 (百万ポンド)	合計 (百万ポンド)
2018 年 1 月 1 日現在	608	3,112	3,382	7,102
ステージ間の振替純額	798	(1,182)	384	-
当年度の事業活動	223	173	95	491
エクスポージャーおよびリスク・パラメーターの変更による再測定および変動純額	(865)	638	1,918	1,691
英国経済の先行き不透明感を踏まえた調整	-	150	-	150
最終返済額	(76)	(176)	(152)	(404)
処分	-	-	(369)	(369)
償却	-	-	(1,891)	(1,891)
2018 年 12 月 31 日現在 ¹	688	2,715	3,367	6,770

当年度における ECL の変動から減損費用/(戻入)への調整

処分および償却により認識が中止された資産を除く ECL の変動	1,928
償却後の戻入純額	(195)
為替およびその他の調整	(143)
ローン・コミットメントおよび金融保証契約に係る減損戻入 ²	(125)
その他の金融資産に係る減損費用 ¹	3
当年度における損益計算書計上(戻入)額	1,468

1 上表に含まれていない減損の対象となるその他の金融資産には、現金担保および決済残高、その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産ならびにその他の資産が含まれます。これらのエクスポージャー総額の合計は 1,299 億ポンド(2018 年 1 月 1 日:1,281 億ポンド)、減損引当金は 1,200 万ポンド(2018 年 1 月 1 日:900 万ポンド)です。これはその他の包括利益資産を通じて公正価値で測定するステージ 1 資産 1,293 億ポンドに係る予想信用損失(ECL)1,000 万ポンド、およびステージ 2 資産 6 億ポンドに係る ECL200 万ポンドで構成されています。

2 ローン・コミットメントおよび金融保証の減損戻入 1 億 2,500 万ポンドは、為替およびその他の調整 2,400 万ポンドにより一部相殺されたものの、減損引当金の 1 億 4,900 万ポンドの減少を表しています。

信用リスク

貸付金(償却原価ベース)に係るエクスポージャー総額は 2018 年度に以下の要因によるステージ 1 の増加を受けて 89 億ポンド増加しました。

- バークレイズ UK の住宅ローン・ポートフォリオの 46 億ポンドの増加
- バークレイズ・インターナショナルのポートフォリオ管理、株式デリバティブ、エクイティ・ファイナンスにおける貸付の 66 億ポンドの増加
- 米国カード事業のバランスシート拡大および為替変動 25 億ポンド
- UK サービス・カンパニーおよびバークレイズ・インターナショナルの流動性資産バッファのためのそれぞれ 23 億ポンド、10 億ポンドの新規債券発行。これは、英国債の長期流動性バッファ・ポートフォリオ合計 51 億ポンドの売却、コーポレート貸付の 25 億ポンドの減少およびイタリアのモーゲージ 10 億ポンドの持続的返済により一部相殺されました。

ステージ間の振替純額は、クレジットリスクの大幅な上昇(SICR)によるステージ 1 からステージ 2 への移行やポジションがデフォルトに陥った場合のステージ 3 への移行などを表しています。同様に、信用の質が改善した場合には、ポジションはより小さい数字のステージに移行します。これが、減損引当金および損益計算書計上額の変動の主な要因となっています。2018 年において、デフォルト確率とマクロ経済変数の改善により、ステージ 2 からステージ 1 へのエクスポージャー純額の移行となりました。ステージ 3 への振替は主にステージ 2 から移行したデフォルト資産によるものでした。

処分には、英国債の長期流動性バッファ・ポートフォリオの売却および債券売却活動が含まれます。償却は当期における資産の貸倒償却処理総額を表します。

減損引当金合計は当期に 3 億 3,200 万ポンド減少しました。これは主に、償却によるバークレイズ・インターナショナルにおける正味の減少、および当期におけるマクロ経済変数の変化によるプラス影響が要因でしたが、英国における経済の先行き不透明感を踏まえた英国カードおよび英国コーポレート・ローンでの 1 億 5,000 万ポンドの費用によって一部相殺されました。ホールセール・ポートフォリオ全体の信用の質とリテール・ポートフォリオにおける基礎的延滞率は当期を通して比較的安定的に推移しました。

ローン・コミットメントおよび金融保証に対するエクスポージャー総額 (監査済)

	ステージ 1 (百万ポンド)	ステージ 2 (百万ポンド)	ステージ 3 (百万ポンド)	合計 (百万ポンド)
2018 年 1 月 1 日現在	275,364	38,867	1,442	315,673
ステージ間の振替純額	13,521	(13,552)	31	-
当年度の事業活動	65,404	811	-	66,215
資金引き出しおよび返済純額	(14,491)	4,298	(473)	(10,666)
最終返済額	(29,809)	(8,298)	(316)	(38,423)
2018 年 12 月 31 日現在	309,989	22,126	684	332,799

ローン・コミットメントおよび金融保証における減損引当金 (監査済)

	ステージ 1 (百万ポンド)	ステージ 2 (百万ポンド)	ステージ 3 (百万ポンド)	合計 (百万ポンド)
2018 年 1 月 1 日現在	133	259	28	420
ステージ間の振替純額	42	(43)	1	-
当年度の事業活動	18	-	-	18
エクスポージャーおよびリスク・パラメーターの変更による再測定および変動純額	(79)	(22)	44	(57)
最終返済額	(15)	(44)	(51)	(110)
2018 年 12 月 31 日現在	99	150	22	271

信用リスク

ステージ 2 の分解分析¹

2018年12月31日現在	エクスポージャー純額 (百万ポンド)	減損引当金 (百万ポンド)
定量的テスト	28,159	2,506
定性的テスト	12,023	183
30 dpd バックストップ	550	26
ステージ 2 合計	40,732	2,715

¹ 残高が信用リスクの大幅な上昇を判定する際の上記3基準のうち2つ以上を満たす場合に、対応するエクスポージャー純額および予想信用損失(ECL)が表示区分の順に割り振られます。

ステージ 2 のエクスポージャーは、主に、存続期間のデフォルト確率(PD)がオリジネーション後に規定値以上に悪化した場合に、定量的テストを用いることにより識別されます。それに加え、定性的テストにおいて、ポートフォリオに対する指定の高リスク基準(ウォッチリストを含む)に合致するエクスポージャーが識別されます。ステージ 2 には少数のその他のエクスポージャー(減損引当金の 1%およびエクスポージャー純額の 1%)が含まれます。これらは定量的または定性的テストにより特定されないものの、30 日以上延滞しているエクスポージャーです。このバックストップ基準によって導出される確率は、延滞前に PD 悪化を識別するステージ 2 への振替基準が有効であるかの尺度となります。

ステージ 2 の分類に必要とされる信用リスクの大幅な上昇を判定する 3 基準の詳細は、バークレイズ・ピーエルシー 英文 2018 年年次報告書 273 ページの注 7 をご参照ください。

信用リスク

測定の不確実性および感応度分析

予想信用損失(ECL)の測定においては、デフォルト確率(PD)やデフォルト時損失率(LGD)の見積もり、客観的な将来の様々な経済シナリオ、予想存続期間の見積もり、デフォルト時エクスポージャー(EAD)の見積もり、信用リスクの大幅な増大の評価など、複雑さが増しており、高度な判断が求められます。減損費用はIAS第39号基準よりも一段と変動が大きくなり、より早期に認識されるようになります。リボルビング・クレジットカードなどの予想存続期間が長い無担保商品は最も影響を受けます。

パークレイズ・グループはECLの算出に5つのシナリオ・モデルを活用しています。外部コンセンサス予想は英国財務省、ブルームバーグ、アーバン・ランド・インスティテュートを含む主要ソースで構成され、ベースライン・シナリオを形成しています。これに加えて、関連する確率加重を用いた2つの下方シナリオ(ダウンサイド1およびダウンサイド2)と2つの上方シナリオ(アップサイド1およびアップサイド2)を導出しています。下方シナリオは、内部ストレス・テストと同程度の深刻度に設定され、IFRS第9号の特定の感応度と非線形の影響が考慮されています。ダウンサイド2は、イングランド銀行の年間景気循環シナリオ、およびムーディーズが策定するシナリオの中で最も厳しいシナリオをベンチマークとしていますが、同一には設計されていません。上方シナリオは、適切な最近の好ましいベンチマーク・シナリオに合わせて調整された上限の下で、下方シナリオと対称になるよう設定されています。これらのシナリオには6つの経済のコア変数(英国および米国市場双方のGDP、失業率、住宅価格指数(HPI))、ならびに過去の相関関係に基づいた統計モデルを使用した拡大変数が組み込まれています。5つのすべてのシナリオは8年後に定常状態に収束します。

シナリオ加重(監査済)

各シナリオの確率加重の見積もりでは、5つのシナリオの予想経路に対し英国および米国の過去の主要なマクロ経済変数の分布を比較する方法が用いられています。この方法は、(現在のコンセンサス見通しを反映した)ベースラインが最も高い加重となり、下方および上方シナリオの加重がベースラインからの乖離に依拠する(ベースラインから乖離するほど加重が小さくなる)よう設計されています。2018年12月31日現在のシナリオの確率加重は以下の通りです。5つのシナリオで構成されるシナリオのセットはすべてのポートフォリオに用いられ、5つのすべての加重は100%と等しくなるよう標準化されています。予想信用損失の見積もりに用いられるものと同じシナリオおよび加重が、パークレイズの内部計画目的にも使用されます。モーゲージは住宅価格や基準金利に対する感応度が非常に高く、クレジットカードや無担保消費者ローンは失業率に対する感応度が非常に高いというように、特定のマクロ経済変数に対するポートフォリオの感応度はそれぞれ異なるため、ポートフォリオへの影響には違いがあります。

下表は、それぞれのシナリオのコア・マクロ経済変数および各シナリオ加重を示しています。

シナリオ確率加重

	アップサイド2	アップサイド1	ベースライン	ダウンサイド1	ダウンサイド2
2018年12月31日現在	%	%	%	%	%
シナリオ確率加重	9	24	41	23	3

マクロ経済変数

	アップサイド2	アップサイド1	ベースライン	ダウンサイド1	ダウンサイド2
2018年12月31日現在	%	%	%	%	%
英国GDP ¹	4.5	3.1	1.7	0.3	(4.1)
英国失業率 ²	3.4	3.9	4.3	5.7	8.8
英国HPI ³	46.4	32.6	3.2	(0.5)	(32.1)
米国GDP ¹	4.8	3.7	2.1	0.4	(3.3)
米国失業率 ²	3.0	3.4	3.7	5.2	8.4
米国HPI ³	36.9	30.2	4.1	-	(17.4)

1 上方シナリオでは最高年間成長率;ベースラインでは5年平均;下方シナリオでは最低年間成長率。

2 上方シナリオでは最低値;ベースラインでは5年平均;下方シナリオでは最高値。

3 上方シナリオでは5年間の累積上昇率;ベースラインでは5年平均;下方シナリオでは累積下落率(最高最低間)。

当期においては、米国におけるマクロ経済のベースライン変数、特に住宅価格指数(HPI)に改善が見られました。英国のマクロ経済のベースライン変数は全般に小幅に改善しました。

信用リスク

主要ポートフォリオの英国経済予想に対する予想信用損失(ECL)感応度分析

下表は、英国のコンセンサスのマクロ経済変数がプラスの成長(上方シナリオ)および下振れ(下方シナリオ)を示した場合の主要ポートフォリオに与える ECL 影響の見積もりを示しています。下方シナリオのインプットはベースラインのマクロ経済変数をダウンサイド 1 の変数に置き換えることによりモデル化しています(米国およびその他の非英国マクロ経済変数には以下に示す通り変更はありません)。同様に、上方シナリオはベースライン・シナリオにアップサイド 1 の英国マクロ経済変数を用いています。ダウンサイド 2、ダウンサイド 1、アップサイド 1 およびアップサイド 2 のマクロ経済変数は一定に保たれていますが、確率加重は再調整されています。

2018 年 12 月 31 日現在のパークレイズの減損には 1 億 5,000 万ポンドの調整が含まれており、これは英国経済の先行き不透明感による影響の見積費用を表しています。この調整は主として以下に示す英国下方シナリオのアウトプットに基づいて見積もられています。

シナリオ確率加重

	アップサイド 2	アップサイド 1	ベースライン	ダウンサイド 1	ダウンサイド 2
	%	%	%	%	%
英国上方シナリオ	18	33	36	11	2
英国下方シナリオ	8	18	40	28	6

マクロ経済変数

	アップサイド 2	アップサイド 1	ベースライン	ダウンサイド 1	ダウンサイド 2
2018 年 12 月 31 日現在	%	%	%	%	%
英国上方シナリオ					
英国 GDP	4.5	3.1	3.1	0.3	(4.1)
英国失業率	3.4	3.9	3.9	5.7	8.8
英国 HPI	46.4	32.6	32.6	(0.5)	(32.1)
米国 GDP	4.8	3.7	2.1	0.4	(3.3)
米国失業率	3.0	3.4	3.7	5.2	8.4
米国 HPI	36.9	30.2	4.1	-	(17.4)
英国下方シナリオ					
英国 GDP	4.5	3.1	0.3	0.3	(4.1)
英国失業率	3.4	3.9	5.7	5.7	8.8
英国 HPI	46.4	32.6	(0.5)	(0.5)	(32.1)
米国 GDP	4.8	3.7	2.1	0.4	(3.3)
米国失業率	3.0	3.4	3.7	5.2	8.4
米国 HPI	36.9	30.2	4.1	-	(17.4)

英国経済予想に対する感応度

	ステージ 1		ステージ 2		ステージ 3		合計	
	△英国 上方 シナリオ	△英国 下方 シナリオ	△英国 上方 シナリオ	△英国 下方 シナリオ	△英国 上方 シナリオ	△英国 下方 シナリオ	△英国 上方 シナリオ	△英国 下方 シナリオ
エクスポージャー総額(百万ポンド)								
住宅ローン	506	(889)	(506)	889	-	-	-	-
クレジットカード、無担保ローンおよび その他のリテール貸付	294	(252)	(294)	252	-	-	-	-
コーポレート・ローン	79	(13)	(79)	13	-	-	-	-
ECL(百万ポンド)								
住宅ローン	-	-	(3)	6	(1)	2	(4)	8
クレジットカード、無担保ローンおよび その他のリテール貸付	(4)	4	(102)	104	(15)	15	(121)	123
コーポレート・ローン	1	7	(4)	13	(46)	28	(49)	48

信用リスク

住宅ローン: 下方シナリオでは、ダウンサイド 2 シナリオに起因する確率加重の増加により、ECL 合計が 800 万ポンド増加します。これは英国経済が現在のコンセンサスよりも深刻な下降局面を迎える可能性が増していることを表します。

クレジットカード、無担保ローンおよびその他のリテール貸付: 上方シナリオでは、より好ましいコンセンサス予想を背景にしたステージ 2 からステージ 1 への資産の移行、およびステージ 2 資産のカバレッジの低下に伴う 2 億 9,400 万ポンドの残高移管により、ECL 合計が 1 億 2,100 万ポンド減少します。下方シナリオでは、UK カード・ポートフォリオを主因に ECL 合計が 1 億 2,300 万ポンド増加します。

コーポレート貸付: 上方シナリオでは、ステージ 3 の大型シングルネームのより好ましい回復結果を主因に、ECL 合計が 4,900 万ポンド減少します。下方シナリオでは、ステージ 2 のカバレッジの上昇、およびステージ 3 の大型シングルネームの低調な回復結果を背景に、ECL 合計に 4,800 万ポンドの影響が生じます。

信用リスク

主要ポートフォリオの米国経済予想に対する予想信用損失(ECL)感応度分析

下表は、米国のコンセンサスのマクロ経済変数がプラスの成長(上方シナリオ)と下振れ(下方シナリオ)を示した場合の主要ポートフォリオに与える ECL 影響の見積もりを示しています。下方シナリオのインプットはベースラインのマクロ経済変数をダウンサイド 1 の変数に置き換えることによりモデル化しています(英国およびその他の非米国マクロ経済変数には以下に示す通り変更はありません)。同様に、上方シナリオはベースライン・シナリオにアップサイド 1 の米国マクロ経済変数を用いています。ダウンサイド 2、ダウンサイド 1、アップサイド 1 およびアップサイド 2 のマクロ経済変数は一定に保たれていますが、確率加重は再調整されています。

シナリオ確率加重

	アップサイド 2	アップサイド 1	ベースライン	ダウンサイド 1	ダウンサイド 2
	%	%	%	%	%
米国上方シナリオ	18	33	36	11	2
米国下方シナリオ	5	14	40	34	7

米国下方シナリオのマクロ経済変数

	アップサイド 2	アップサイド 1	ベースライン	ダウンサイド 1	ダウンサイド 2
	%	%	%	%	%
2018 年 12 月 31 日現在					
米国上方シナリオ					
英国 GDP	4.5	3.1	1.7	0.3	(4.1)
英国失業率	3.4	3.9	4.3	5.7	8.8
英国 HPI	46.4	32.6	3.2	(0.5)	(32.1)
米国 GDP	4.8	3.7	3.7	0.4	(3.3)
米国失業率	3.0	3.4	3.4	5.2	8.4
米国 HPI	36.9	30.2	30.2	-	(17.4)
米国下方シナリオ					
英国 GDP	4.5	3.1	1.7	0.3	(4.1)
英国失業率	3.4	3.9	4.3	5.7	8.8
英国 HPI	46.4	32.6	3.2	(0.5)	(32.1)
米国 GDP	4.8	3.7	0.4	0.4	(3.3)
米国失業率	3.0	3.4	5.2	5.2	8.4
米国 HPI	36.9	30.2	-	-	(17.4)

英国経済予想に対する感応度

	ステージ 1		ステージ 2		ステージ 3		合計	
	△米国 上方 シナリオ	△米国 下方 シナリオ	△米国 上方 シナリオ	△米国 下方 シナリオ	△米国 上方 シナリオ	△米国 下方 シナリオ	△米国 上方 シナリオ	△米国 下方 シナリオ
エクスポージャー総額(百万ポンド)								
クレジットカード、無担保ローンおよびその他のリテール貸付	214	(312)	(214)	312	-	-	-	-
コーポレート・ローン	83	(46)	(83)	46	-	-	-	-
ECL(百万ポンド)								
クレジットカード、無担保ローンおよびその他のリテール貸付	(4)	6	(76)	144	(6)	7	(86)	157
コーポレート・ローン	(3)	10	(15)	34	(35)	54	(53)	98

クレジットカード、無担保ローンおよびその他のリテール・貸付: 上方シナリオでは、ステージ 2 からステージ 1 への 2 億 1,400 万ポンドの資産の振替、およびより好ましいコンセンサス予想を背景にしたステージ 2 資産のカバレッジの低下により、ECL 合計が 8,600 万ポンド減少します。下方シナリオでは、非線形の影響と下方シナリオの相対的な深刻さを背景に、ECL 合計が 1 億 5,700 万ポンド増加し、上方シナリオよりも大きな影響を受けます。

コーポレート貸付: 下方シナリオでは、ステージ 3 の大型シングルネーム 1 件の低調な回復結果(バークレイズではベースライン・シナリオでの損失に加え、3,900 万ポンドの追加損失を予想していました。)、および好ましくないコンセンサス予想を背景にしたステージ 2 資産のカバレッジ上昇を要因に、ECL 合計が 9,800 万ポンド増加します。カバレッジ比率(特にステージ 2)への影響は英国シナリオのケースを上回りますが、これは米国ポートフォリオの無担保レバレッジ貸付比率が相対的に高いというポートフォリオの質の要因を主に反映しています。

市場リスク

管理 VaR の分析

下表は、リスク要因別の分散ベースの管理 VaR 合計を示しています。管理 VaR 合計には CIB および本社の全トレーディング・ポジションが含まれています。

各リスク要因 VaR および管理 VaR 合計には上限が適用され、この上限はリスク管理者によりさらに各事業部門に割り振られます。

資産種別管理 VaR(95%)¹

	2018年12月31日に終了した年度			2017年12月31日に終了した年度		
	日次平均 (百万ポンド)	最大 ² (百万ポンド)	最小 ² (百万ポンド)	日次平均 (百万ポンド)	最大 ² (百万ポンド)	最小 ² (百万ポンド)
信用リスク	11	16	8	12	18	8
金利リスク	8	19	3	8	15	4
株式リスク	7	14	4	8	14	4
ベースス・リスク	6	8	4	5	6	3
スプレッド・リスク	6	9	3	5	8	3
為替リスク	3	7	2	3	7	2
コモディティ・リスク	1	2	-	2	3	1
インフレ・リスク	3	4	2	2	4	1
分散効果 ²	(24)	n/a	n/a	(26)	n/a	n/a
管理 VaR 合計	21	27	15	19	26	14

¹ 2018年7月23日以降、BAGLのポジションは含まれていません。

² 分散効果は異なる資産または異なる事業から予想される損失が同時に発生する可能性が低いことを認識しています。このため予想損失総額は各エリアにおける予想損失の合計を下回ります。これらの評価においては損失間の過去の相関性が考慮されています。各区分ごとに報告されている最大および最小の VaR 値は、全体として報告されている最大および最小の VaR と必ずしも同日に発生したものではありません。従って、最大および最小の VaR 値にかかる分散効果は意味が無く、上表では省略されています。

管理 VAR は 2017 年度から概ね安定的に推移しました。2018 年度の日次平均 VAR の小幅な増加は、2017 年度に比べてボラティリティが高まったことに起因します。

財務および資本リスク

バークレイズ・グループはグループの流動性リスクを管理するための包括的な重要なリスク統制フレームワークを備えています。流動性フレームワークはプルデンス(健全性)規制機構(PRA)の規制基準に適合し、金額および質において十分な流動性リソース、ならびに当グループの流動性リスク選好度(LRA)に見合った適切な資金調達プロファイルを維持するよう設計されています。流動性フレームワークはポリシー形成、レビューおよび管理、分析、ストレス・テスト、制限設定、モニタリングを組み合わせで構築されています。

流動性リスク・ストレス・テスト

2018年12月31日現在、当グループは、グループ内外の規制要件に従い、ストレス時の資金流出純額の100%を上回る適格流動性資産を保有しています。短期ストレス・シナリオは、30日間のバークレイズ固有のストレス・イベント、90日間の市場全体のストレス・イベント、およびバークレイズ固有のストレスと市場全体のストレスの両方から成る30日間のコンバインド・シナリオで構成されています。

流動性カバレッジ比率

	2018年12月31日現在 (億ポンド)	2017年12月31日現在 (億ポンド)
適格流動性バッファー	2,190	2,150
ストレス時の資金流出純額	(1,290)	(1,400)
余剰流動性	900	750
流動性カバレッジ比率	169%	154%

当グループは市場の資金調達状況や当グループの流動性ポジションに対するリスクを考慮しつつ、内部基準および規制上のストレス要件に対する余剰流動性を効率的な水準で維持することを計画しています。これらのリスクを継続的に再評価することで、余剰流動性の規模を適切に変更する対応が可能となります。

財務および資本リスク

グループ余剰流動性の構成

	2018年12月31日現在				2017年12月31日現在
	余剰流動性 (億ポンド)	余剰流動性のうち CRD IV の LCR 適格分 ³			余剰流動性 (億ポンド)
		現金 (億ポンド)	レベル1 (億ポンド)	レベル2A (億ポンド)	
現金および中央銀行預け金 ¹	1,810	1,760	-	-	1,730
国債²					
AAA格からAA-格	270	-	230	-	310
BBB+格からBBB-格	40	-	40	-	20
その他のLCR不適格国債	10	-	-	-	10
国債合計	320	-	270	-	340
その他					
政府保証発行体、PSEおよびGSE	60	-	50	10	60
国際機関およびMDB	50	-	50	-	40
カバード・ボンド	30	-	30	-	20
その他	-	-	-	-	10
その他合計	140	-	130	10	130
2018年12月31日現在合計	2,270	1,760	400	10	
2017年12月31日現在合計	2,200	1,690	430	20	

- 1 このうち99%超(2017年12月:99%超)はイングランド銀行、米連邦準備制度理事会、欧州中央銀行、日本銀行およびスイス国立銀行に預けられています。
 2 このうち71%超(2017年12月:84%超)は英国、米国、フランス、ドイツ、スイスおよびオランダの国債で構成されています。
 3 LCR 適格の余剰流動性は、囲い込まれた流動性およびその他の規制上の控除項目について調整されています。また、パークレイズ内部のリスク選好度においては適格でないその他のCRD IV 適格資産も組み込んでいます。

2018年12月31日現在の当グループの余剰流動性は2,270億ポンド(2017年12月:2,200億ポンド)でした。2018年度において、各月末時点の余剰流動性は2,070億ポンドから2,430億ポンド(2017年12月:1,650億ポンドから2,320億ポンド)の範囲で推移し、月末平均残高は2,250億ポンド(2017年12月:2,020億ポンド)でした。余剰流動性は担保に供されていない資産で、支払や清算要件の裏付けとして使用されるものではありません。こうした要件はパークレイズの通常の事業資金調達の一部として扱われます。余剰流動性はストレス時の資金流出を相殺することを目的とし、上述のキャッシュおよび担保に供されていない資産で構成されます。

2018年12月31日現在、余剰流動性の90%(2017年12月:93%)がパークレイズ・バンク・ピーエルシーおよびパークレイズ・バンク UK ピーエルシーに所在しました。余剰流動性の残りの部分は、これらの事業体以外(主に米国子会社)において保有されていますが、これは各事業体固有のストレス時の資金流出および各国の規制上の要件を満たすためです。余剰流動性のこの部分の使用は規制上の要件により制限されており、流動性カバレッジ比率(LCR)の算出において、パークレイズ・グループの他の事業体は利用できないと考えられています。

預金による資金調達

	2018年12月31日現在			2017年12月31日現在
	貸出金 (償却原価ベース) (億ポンド)	預り金 (償却原価ベース) (億ポンド)	預貸率 ¹ (%)	預貸率 ¹ (%)
貸付金の資金調達				
パークレイズ UK	1,890	1,970	96%	95%
パークレイズ・インターナショナル	1,270	1,970	65%	68%
本社	110	-	-	-
パークレイズ・グループ	3,260	3,950	83%	81%

- 1 預貸率は貸付金(償却原価ベース)を預り金(償却原価ベース)で除して算出されています。比較数値はこのアプローチに基づいて修正再表示されています。

財務および資本リスク

ホールセール資金調達構成

ホールセール資金調達残高(レポ取引は除く)は1,540億ポンド(2017年12月:1,440億ポンド)でした。当グループは2018年度にパークレイズ・ピーエルシー(親会社)を通じて様々な期間および通貨建ての自己資本および適格債務の最低基準(MREL)適格商品122億ポンドを発行しました。

安定的で多様化した資金調達基盤を維持するため、パークレイズ・バンク・ピーエルシーは引き続きより短期の市場で、パークレイズ・バンク UK ピーエルシーはより短期の有担保市場でそれぞれ発行を行いました。

当グループは引き続き短期ホールセール資金調達への依存度を引き下げ、1年未満で満期を迎えるホールセール資金調達の比率は30%に低下しました(2017年12月:31%)。1年未満で満期を迎えるホールセール資金調達は467億ポンド(2017年12月:449億ポンド)で、うち191億ポンド(2017年12月:138億ポンド)²がターム・ファンディングに関連しています。要件にはありませんが、余剰流動性は1年未満で満期を迎えるホールセール資金調達を1,800億ポンド(2017年12月:1,750億ポンド)上回りました。

期間別ホールセール資金調達^{1,2}

	1ヵ月 未満 (億ポンド)	1-3 ヵ月 (億ポンド)	3-6 ヵ月 (億ポンド)	6-12 ヵ月 (億ポンド)	1年 未満 (億ポンド)	1-2年 (億ポンド)	2-3年 (億ポンド)	3-4年 (億ポンド)	4-5年 (億ポンド)	5年超 (億ポンド)	合計 (億ポンド)
パークレイズ・ピーエルシー(親会社)											
無担保シニア債(公募)	-	-	-	16	16	11	44	13	67	163	314
無担保シニア債(私募)	-	-	-	-	-	-	2	-	2	5	9
劣後負債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	68	68
パークレイズ・バンク・ピーエルシー (子会社を含む)											
譲渡性預金証書および コマーシャル・ペーパー	1	78	35	80	194	12	8	5	1	-	220
資産担保コマーシャル・ペーパー	20	37	11	-	68	-	-	-	-	-	68
無担保シニア債(公募)	-	3	11	11	25	30	4	-	-	12	71
無担保シニア債(私募) ³	1	30	23	56	110	77	46	26	40	165	464
資産担保証券	-	-	-	10	10	12	2	2	6	26	58
劣後負債	2	1	-	1	4	9	52	34	-	41	140
その他	1	-	-	-	1	1	-	-	3	11	16
パークレイズ・バンク・UK ピーエルシー (子会社を含む)											
譲渡性預金証書および コマーシャル・ペーパー	-	10	2	1	13	-	-	-	-	-	13
カバード・ボンド	-	-	-	18	18	10	10	24	13	11	86
資産担保証券	-	-	-	8	8	5	-	-	-	-	13
2018年12月31日現在合計	25	159	82	201	467	167	168	104	132	502	1,540
うち担保付	20	37	11	36	104	27	12	26	19	37	225
うち無担保	5	122	71	165	363	140	156	78	113	465	1,315
2017年12月31日現在合計	72	149	125	103	449	187	120	136	108	437	1,437
うち担保付	19	51	10	2	82	35	20	10	25	31	203
うち無担保	53	98	115	101	367	152	100	126	83	406	1,234

1 ホールセール資金調達は、主に債券および劣後負債で構成されています。レポ取引およびその他類似の担保付借入において報告される中央銀行の通貨イニシアティブへの参加分は含まれていません。

2 ターム資金調達は公募および私募による無担保シニア債、カバード・ボンド、資産担保証券(ABS)、ならびに商品の当初満期が1年超の劣後負債で構成されています。

3 ストラクチャード・ノート357億ポンドを含み、うち62億ポンドは1年以内に満期を迎えます。

財務および資本リスク

資本

バークレイズの完全施行ベースのCET1規制要件は、ピラー1最低所要水準4.5%、資本保全バッファー(CCB)2.5%、グローバルなシステム上重要な金融機関(G-SII)バッファー1.5%、2019年1月1日から適用されるピラー2A要件2.7%およびカウンターシクリカル資本バッファー(CCyB)0.5%から成る11.7%です。

CCBおよび金融安定理事会(FSB)のガイダンスに沿ってPRAが決定するG-SIIバッファーは2016年以降毎年25%ずつ段階的に導入され、2019年1月1日から完全実施されます。CCBは2.5%に設定され、2018年は1.9%が適用されます。2018年のG-SIIバッファーは1.5%に設定され、2018年は1.1%が適用されます。FSBは、2019年および2020年に適用されるG-SIIバッファーは引き続き1.5%であることを確認しました。

バークレイズのCCyBはバークレイズがエクスポージャーを有する各管轄領域に適用されるバッファー・レートに基づいています。金融政策委員会(FPC)は2018年11月28日、英国エクスポージャーに対するCCyBレートを0.5%から1%に引き上げました。その他の国家当局が当社の非英国エクスポージャーに対して設定するバッファー・レートは現時点では重要なものではありません。上記の結果、全体として2018年度第4四半期のバークレイズのCCyBは0.5%となります。

2018年のPRA個別資本要件によるバークレイズのピラー2A要件は4.3%で、うち少なくとも56.25%はCET1で満たす必要があり、これはリスク調整後資産(RWA)の約2.4%に相当します。ピラー2A要件の一部要素は固定量であり、その他の要素はリスク調整後資産の一定割合で、ポイント・イン・タイム評価に基づいています。このピラー2A要件は少なくとも年1回の見直しの対象です。

2018年12月31日現在、バークレイズの経過措置ルールに基づくCET1資本比率は13.2%で、ピラー1最低所要水準4.5%、CCB 1.9%、G-SIIバッファー1.1%、CCyB0.5%およびピラー2A要件2.4%から成る2018年の経過措置ルールに基づく最低所要水準10.4%を上回りました。

財務および資本リスク

資本比率 ^{1,2,3}	2018年	2018年	2017年
	12月31日現在	9月30日現在	12月31日現在
普通株式 Tier1 (CET1)	13.2%	13.2%	13.3%
Tier 1 (T1)	17.0%	17.5%	17.2%
規制上の自己資本合計	20.7%	21.3%	21.5%
資本要素			
	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
貸借対照表上の非支配持分を除く株主資本合計	626	632	639
(控除)その他の持分商品(AT1 資本として認識)	(96)	(108)	(89)
将来の配当原資としての利益剰余金に対する調整	(7)	(5)	(4)
その他規制上の調整および控除			
追加的評価調整(PVA)	(17)	(16)	(14)
のれんおよび無形資産	(80)	(79)	(79)
一時的な差異を除いた将来の収益に係る繰延税金資産	(5)	(6)	(6)
キャッシュフロー・ヘッジ損益に係る公正価値再評価差額	(7)	(4)	(12)
減損を上回る予想損失額	-	-	(12)
当グループ自身の信用度に関連する公正価値で測定する負債に係る損益	(1)	1	1
確定給付年金基金資産	(13)	(8)	(7)
当グループが発行した CET1 金融商品の金融機関による直接的・間接的保有	(1)	(1)	(1)
IFRS 第9号経過措置ルールに基づく調整	13	13	-
普通株式 Tier1 (CET1) 資本	411	417	416
追加的 Tier1 (AT1) 資本			
資本性商品および関連株式プレミアム	96	108	89
子会社が発行した適格 AT1 資本(少数株主持分を含む)	24	27	35
その他規制上の調整および控除	(1)	(1)	(1)
追加的 Tier1 (AT1) 資本	119	135	123
Tier1 (T1) 資本	530	552	539
Tier2 (T2) 資本			
資本性商品および関連株式プレミアム	66	66	65
子会社が発行した適格 T2 資本(少数株主持分を含む)	53	56	70
その他規制上の調整および控除	(3)	(3)	(3)
規制上の自己資本合計	646	672	672
リスク調整後資産合計	3,119	3,162	3,130

- 1 CET1、T1およびT2資本ならびにリスク調整後資産はCRRの経過措置ルールに基づくアレンジメントを適用して算出されています。これには IFRS第9号の経過措置ルールに基づくアレンジメントおよびCRR非適格資本性商品を適用対象外とすることも含まれています。
- 2 パークレイズ・ピーエルシーの追加的Tier1 (AT1) 証券における転換トリガーに対する評価に関連する完全施行ベースのCET1 資本比率は12.8%でした。CET1 資本398億ポンドおよびリスク調整後資産3,118億ポンドはCRRの経過措置ルールに基づくアレンジメントを適用せずに算出されています。
- 3 パークレイズ・バンク・ピーエルシーのT2コンティンジェント・キャピタル・ノートにおける転換トリガーに対する評価に関連するパークレイズ・ピーエルシーのCET1 資本比率は13.2%でした。この算出のため、CET1 資本およびリスク調整後資産はIFRS第9号の経過措置ルールに基づくアレンジメントを含むCRRの経過措置ルールに基づくアレンジメントを適用して算出されています。CRD IVの実施に関連する経過措置規定の金融サービス機構(FSA)による2012年10月の解釈の恩典は2017年12月に失効しました。

財務および資本リスク

普通株式 Tier1 (CET1) 資本の変動

	2018年 12月31日に 終了した3ヵ月間 (億ポンド)	2018年 12月31日に 終了した年度 (億ポンド)
CET1 資本の期首残高	417	416
会計方針の変更による影響	-	(22)
株主に帰属する当期利益	2	21
当グループ自身の信用度に関連するデリバティブ負債	-	(1)
支払および支払予定配当金	(4)	(17)
収益から生じた規制上の自己資本の(減少)/増加	(3)	4
株式制度の正味影響額	1	1
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融商品に係る再評価差額	2	(5)
為替換算再評価差額	4	8
その他の剰余金	(10)	(10)
その他の適格剰余金の減少	(3)	(6)
剰余金に含まれる年金の再測定	6	3
確定給付年金基金資産の控除	(5)	(6)
年金の正味の影響	1	(3)
追加的評価調整(PVA)	(1)	(4)
のれんおよび無形資産	(1)	(1)
一時的な差異を除いた将来の収益に係る繰延税金資産	1	1
減損を上回る予想損失額	-	12
IFRS 第9号経過措置ルールに基づく調整	-	13
調整および控除による規制上の自己資本の(減少)/増加	(1)	22
CET1 資本の期末残高	411	411

CET1 資本は 5 億ポンド減少して 411 億ポンドとなりました。

バークレイズ・グループが主要なレガシー問題を解決したことに伴う訴訟および特定行為に係る費用 21 億ポンドおよび以下の重要な項目が、利益から創出された本来的な資本 42 億ポンドを上回りました。

- 支払および支払予定普通株配当および AT1 クーボンが 17 億ポンドとなりました。
- 取得時為替レートでバランスシート上に保有していたレガシーの利率 8.125% シリーズ非累積償還可能ドル建て優先株式 26 億 5,000 万ドルおよび利率 8.25% AT1 証券 20 億ドルの償還に伴い、その他の適格剰余金が 10 億ポンド減少しました。
- 2018 年 4 月に実施した積立不足分の抛出 2 億 5,000 万ポンドおよび 2018 年 9 月に実施した同 2 億 5,000 万ポンドの支払いを主因に、年金に関連する変動の結果として 3 億ポンド減少しました。

IFRS 第 9 号の適用に伴い CET1 資本は純増加となりました。経過措置ルールに基づく調整額 13 億ポンドおよび減損を上回る予想損失額に係る規制上の控除額 12 億ポンドが、会計方針適用時の株主資本の当初減少額(影響)22 億ポンドを上回ったためです。

財務および資本リスク

リスクの種類および事業部門別リスク調整後資産(RWA)

	信用リスク		カウンターパーティ 信用リスク				市場リスク		オペレー ショナル リスク	リスク 調整後 資産合計
	標準的 手法	内部格付 手法	標準的 手法	内部格付 手法	決済 リスク	信用価値 調整	標準的 手法	内部モデル 方式		
	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
2018年12月31日現在										
パークレイズ UK	33	597	2	-	-	1	1	-	118	752
パークレイズ・インターナショナル 本社	556	670	99	150	2	33	139	168	290	2,107
パークレイズ・グループ	43	58	-	-	-	-	-	-	159	260
パークレイズ・グループ	632	1,325	101	150	2	34	140	168	567	3,119
2018年9月30日現在										
パークレイズ UK	34	592	3	-	-	1	-	-	118	748
パークレイズ・インターナショナル 本社	516	688	153	168	1	34	158	144	284	2,146
パークレイズ・グループ	41	60	-	2	-	-	-	-	165	268
パークレイズ・グループ	591	1,340	156	170	1	35	158	144	567	3,162
2017年12月31日現在										
パークレイズ UK	38	550	-	-	-	-	-	-	122	709
パークレイズ・インターナショナル 本社	491	695	170	172	1	28	133	135	277	2,103
パークレイズ・グループ	29	98	1	6	-	2	1	14	168	318
パークレイズ・グループ	558	1,342	171	179	1	30	134	149	567	3,130

リスク調整後資産の変動の内訳

	信用リスク (億ポンド)	カウンターパーティ 信用リスク (億ポンド)	市場リスク (億ポンド)	オペレーショナル リスク (億ポンド)	リスク調整後 資産合計 (億ポンド)
2018年12月31日に終了した年度					
リスク調整後資産の期首残高	1,900	380	283	567	3,130
与信残高	68	(6)	22	-	84
買収および処分	(36)	(3)	(2)	-	(41)
与信の質	(29)	(5)	-	-	(34)
モデルの更新	-	-	-	-	-
手法および方針	22	(78)	5	-	(51)
外国為替の変動 ¹	31	-	-	-	31
リスク調整後資産の期末残高	1,956	288	308	567	3,119

¹ 外国為替の変動にはカウンターパーティ信用リスクあるいは市場リスクに係る外国為替を含んでいません。

リスク調整後資産は11億ポンド減少し、3,119億ポンドとなりました。主な要因は以下の通りです。

- インベストメント・バンキング事業およびコンシューマー、カードおよび決済事業における貸付活動増加を主因に、与信残高がリスク調整後資産を84億ポンド増加させました。
- BAGLの規制上の非連結化を主因に、買収および処分がリスク調整後資産を41億ポンド減少させました。
- パークレイズ・インターナショナルのリスク特性の変動を主因に、与信の質がリスク調整後資産を34億ポンド減少させました。
- モデル化されたエクスポージャー測定アプローチ使用の規制上の許可が延長されたことを主因に、手法および方針がリスク調整後資産を51億ポンド減少させました。
- 期末の英ポンドに対する米ドルの上昇を主因に、外国為替の変動がリスク調整後資産を31億ポンド増加させました。

財務および資本リスク

レバレッジ比率およびエクスポージャー

パークレイズは、段階的に導入されているレバレッジ比率要件の規制を受けており、2018年12月31日現在の経過措置ルールは3.8%で、これは最低要件3.25%、経過措置ルールに基づくG-SIIに対する追加的レバレッジ比率バッファー(G-SII ALRB)0.39%およびカウンターシクリカル・レバレッジ比率バッファー(CCLB)0.2%で構成されています。レバレッジ比率はTier1資本に対する比率で表されますが、最低要件の75%(2.4375%に相当)はCET1資本で満たす必要があります。さらに、G-SII ALRBおよびCCLBはCET1資本のみでカバーされなければなりません。0.39%の経過措置ルールに基づくG-SII ALRBに対して保有するCET1資本は44億ポンド、0.2%のCCLBに対して保有するCET1資本は22億ポンドでした。完全施行ベースの英国レバレッジ要件は4.0%と予想されています。

経過措置期間終了に伴い、2018年1月1日から、パークレイズは四半期中の各月末での資本と四半期中の毎日のエクスポージャー指標に基づく平均英国レバレッジ比率の開示を求められています。経過措置期間中は、エクスポージャー指標は四半期中の各月末のものに基づいていました。また、パークレイズは四半期中の各月末での資本とエクスポージャーに基づく英国レバレッジ比率の開示も求められています。どちらのアプローチも、レバレッジ・エクスポージャーの計算から適格中央銀行債権を除外しています。

	2018年 12月31日現在 (億ポンド)	2018年 9月30日現在 (億ポンド)	2017年 12月31日現在 (億ポンド)
レバレッジ比率^{1,2}			
英国レバレッジ比率	5.1%	4.9%	5.1%
CET1資本	411	417	416
AT1資本	95	107	88
Tier1資本 ³	506	525	504
英国レバレッジ・エクスポージャー	9,990	10,630	9,850
平均英国レバレッジ比率	4.5%	4.6%	4.9%
平均Tier1資本 ³	505	518	512
平均英国レバレッジ・エクスポージャー ⁴	11,100	11,190	10,450

英国レバレッジ・エクスポージャー

会計上の資産			
デリバティブ	2,230	2,150	2,380
デリバティブに係る現金担保	480	470	530
証券金融取引(SFT)	1,210	1,290	1,130
貸付金およびその他の資産	7,410	7,800	7,290
IFRS上の資産合計	11,330	11,710	11,330
規制上の連結調整	(20)	(10)	80
デリバティブ調整			
デリバティブ・ネットティング	(2,020)	(1,940)	(2,170)
現金担保に係る調整	(420)	(400)	(420)
売建クレジット・プロテクション純額	190	160	140
デリバティブに係る潜在的将来エクスポージャー(PFE)	1,230	1,330	1,200
デリバティブ調整合計	(1,020)	(850)	(1,250)
証券金融取引(SFT)調整	170	170	190
規制上の控除およびその他調整	(110)	(110)	(130)
加重計算されたオフ・バランスシートのコミットメント	1,080	1,010	1,030
適格中央銀行債権	(1,440)	(1,290)	(1,400)
英国レバレッジ・エクスポージャー²	9,990	10,630	9,850

1 完全施行ベースの英国レバレッジ比率は4.9%で、T1資本493億ポンドとレバレッジ・エクスポージャー9,970億ポンドはCRRの経過措置ルールに基づくアレンジメントを適用せずに算出されています。

2 資本およびレバレッジ指標はCRRの経過措置ルールに基づくアレンジメントを適用して算出されています。

3 T1資本はCRRでは容認されている適用対象外のAT1金融商品を除外しているPRA「ハンドブック」に沿って算出されています。

4 2017年12月31日現在の平均英国レバレッジ・エクスポージャーは四半期中の各月末に基づいて算出されています。

財務および資本リスク

英国レバレッジ比率は 5.1% (2017 年 12 月: 5.1%) で横ばいでした。レバレッジ・エクスポージャーは微増の 9,990 億ポンド (2017 年 12 月: 9,850 億ポンド) でした。レバレッジ・エクスポージャーの変動には以下が含まれています。

- 貸付金およびその他資産は、英国のモーゲージ・ポートフォリオの増加を主因に、120 億ポンド増加して 7,410 億ポンドとなりました。
- 証券金融取引 (SFT) は、CIB が高リターン金融取引でレバレッジ・バランスシートを効率的に活用したことを主因に、80 億ポンド増加して 1,210 億ポンドとなりました。
- 規制上の連結調整は、BAGL の規制上の非連結化を主因に、100 億ポンド減少しました。

平均英国レバレッジ比率は 4.5% (2017 年 12 月: 4.9%) に低下しました。これは日次エクスポージャー指標の変更が一因です。平均英国レバレッジ・エクスポージャーは増加しました。証券金融取引 (SFT) のトレーディング活動とトレーディング・ポートフォリオ資産の増加および平均 T1 資本の減少が主因でした。

平均英国レバレッジ比率と英国レバレッジ比率の差異は四半期末におけるトレーディング・ポートフォリオ資産、決済エクスポージャーおよび証券金融取引 (SFT) エクスポージャーの減少が主因です。

また、パークレイズは CRR レバレッジ比率の開示も求められています。これは、レギュレーション (EU) No 575/2013 第 8 部に基づく開示要件に関する欧州銀行監督機構 (EBA) ガイドラインに従って作成されている追加的なパークレイズの規制上の開示 (パークレイズ・ピーエルシーの 2018 年ピラー 3 レポート (未監査) を参照) に含まれています。これは 2019 年 2 月 21 日に開示されており、home.barclays/investor-relations/reports-and-events/annual-reports で閲覧可能です。

財務および資本リスク

自己資本および適格債務の最低基準(MREL)

イングランド銀行は自己資本および適格債務の最低基準(MREL)に関する政策の声明に基づき、英国の「グローバルなシステム上重要な銀行(G-SIBs)」向けの総損失吸収力(TLAC)基準の適用に必要な MREL を設定します。機関またはグループにとって望ましい破綻処理戦略に応じて対象金融機関またはグループ固有の MREL 要件が設定されます。

MREL 要件は 2019 年 1 月 1 日から段階的に適用され、2022 年 1 月 1 日には完全施行されます。この時点で、英国に設立された破綻処理エンティティを有する、パークレイズを含む G-SIBs は、以下のいずれか高い方の MREL の達成を求められます: (i) ピラー1 およびピラー2A 要件の合計の 2 倍の額;あるいは(ii)レバレッジ・エクスポージャーのレバレッジ比率要件の 2 倍の比率または 6.75%のいずれか高い水準。しかし、プルーデンス(健全性)規制機構(PRA)はピラー2A 資本再構築案の評価を含め、2020 年末までに MREL 基準を見直す予定で、2022 年 1 月 1 日時点の MREL 要件は現在の提案と異なる可能性があります。加えて、CET1 資本を MREL とコンバインド・バッファー要件(CBR)の双方に含めないことが提案されており、CBR は実質的に自己資本および MREL に関するピラー1 およびピラー2A 要件の双方を上回る水準が適用されることを意味します。

現在、2022年1月1日以降の予想されるパークレイズのMREL要件はリスク調整後資産の30.0%で、以下の要因で構成されます。

- 損失吸収および資本再構築の額はピラー1バッファー8%およびピラー2Aバッファー4.7%でそれぞれ構成されます。
- 規制上のバッファーは、グローバルなシステム上重要な金融機関(G-SII)に対するバッファー1.5%、資産保全バッファー(CCB)2.5%および英国のカウンターシクリカル資本バッファー(CCyB)1%の適用計画による0.5%を含みます。¹

MREL 比率および残高

MREL 比率	2018 年 12 月 31 日現在	2018 年 9 月 30 日現在	2017 年 12 月 31 日現在
CET1 資本 ²	13.2%	13.2%	13.3%
追加的 Tier1(AT1)資本性商品および関連株式プレミアム	3.1%	3.4%	2.9%
Tier2(T2)資本性商品および関連株式プレミアム	2.1%	2.1%	2.1%
ターム・シニア無担保資金調達	9.7%	9.4%	6.8%
パークレイズ・ピーエルシー(親会社)の MREL 比率合計	28.1%	28.1%	25.0%
子会社が発行した適格 AT1 資本(少数株主持分を含む) ³	0.7%	0.8%	1.1%
子会社が発行した適格 T2 資本(少数株主持分を含む) ³	1.6%	1.7%	2.2%
MREL 比率合計(BBPLC の適格商品を含む)	30.5%	30.7%	28.2%
MREL に関連する残高	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
CET1 資本 ²	411	417	416
追加的 Tier1(AT1)資本性商品および関連株式プレミアム	96	108	89
Tier2(T2)資本性商品および関連株式プレミアム	66	66	65
ターム・シニア無担保資金調達	304	298	212
パークレイズ・ピーエルシー(親会社)の MREL に関連する残高合計	877	890	782
子会社が発行した適格 AT1 資本(少数株主持分を含む) ³	23	26	34
子会社が発行した適格 T2 資本(少数株主持分を含む) ³	51	54	68
MREL に関連する残高合計(BBPLC の適格商品を含む)	951	970	884
リスク調整後資産合計²	3,119	3,162	3,130

¹ 2022 年の要件は 2020 年末に行われるイングランド銀行によるレビューの影響を受ける可能性があります。

² CET1 資本およびリスク調整後資産は CRR の経過措置ルールに基づくアレンジメントを適用して算出されています。これには IFRS 第 9 号の経過措置ルールに基づくアレンジメントおよび CRR 非適格資本性商品を適用対象外とすることも含まれています。

³ その他の AT1 資本の規制上の調整および控除 1 億ポンド(2017 年 12 月:1 億ポンド)ならびにその他の T2 資本の信用リスクに関する調整および控除 3 億ポンド(2017 年 12 月:3 億ポンド)が含まれます。

要約連結財務書類

要約連結損益計算書

	注記 ¹	2018年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2017年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)
継続事業			
利息収入純額		9,062	9,845
手数料収入純額		6,809	6,814
トレーディング収益純額		4,566	3,500
投資収益純額		585	861
その他の収益		114	56
収益合計		21,136	21,076
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額		(1,468)	(2,336)
営業収益純額		19,668	18,740
人件費		(8,629)	(8,560)
一般管理費		(7,614)	(6,896)
営業費用		(16,243)	(15,456)
事業売却益ならびに関連会社および合併企業の損益に対する持分		69	257
税引前利益		3,494	3,541
税金	1	(1,122)	(2,240)
継続事業に係る税引後利益		2,372	1,301
非継続事業に係る税引後損失		-	(2,195)
税引後利益／(損失)		2,372	(894)
以下に帰属するもの:			
親会社の株主		1,394	(1,922)
その他の持分商品保有者		752	639
親会社の株主合計		2,146	(1,283)
継続事業に係る非支配持分	2	226	249
非継続事業に係る非支配持分	2	-	140
税引後利益／(損失)		2,372	(894)
1株当たり利益		ペンス	ペンス
基本的普通株式1株当たり利益／(損失)	3	9.4	(10.3)
継続事業に係る基本的普通株式1株当たり利益	3	9.4	3.5
非継続事業に係る基本的普通株式1株当たり損失	3	-	(13.8)
希薄化後普通株式1株当たり利益／(損失)	3	9.2	(10.1)
継続事業に係る希薄化後普通株式1株当たり利益	3	9.2	3.4
非継続事業に係る希薄化後普通株式1株当たり損失	3	-	(13.5)

1 財務書類に対する注記は英語原文の58-63ページをご参照ください。

要約連結財務書類

要約連結包括利益計算書

	注記 ¹	2018年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2017年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)
税引後利益／(損失)		2,372	(894)
継続事業に係る税引後利益		2,372	1,301
非継続事業に係る税引後損失		-	(2,195)
継続事業からの損益に振替えられる可能性のあるその他の包括利益／(損失):²			
為替換算再評価差額	11	834	(1,337)
売却可能投資再評価差額 ³	11	-	449
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融商品の再評価差額 ³	11	(226)	-
キャッシュフロー・ヘッジ再評価差額	11	(501)	(948)
その他	11	30	(5)
継続事業からの損益に振替えられる可能性のあるその他の包括利益／(損失)		137	(1,841)
継続事業からの損益に振替えられないその他の包括利益／(損失):²			
退職給付の再測定	8	313	53
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融商品の再評価差額 ³	11	(260)	-
当グループ自身の信用度に関連する損益	11	58	(11)
継続事業からの損益に振替えられないその他の包括利益		111	42
継続事業からのその他の包括利益／(損失)		248	(1,799)
非継続事業からのその他の包括利益		-	1,301
包括利益／(損失)合計:			
継続事業からの税引後当期包括利益／(損失)合計		2,620	(498)
非継続事業からの税引後当期包括損失合計		-	(894)
包括利益／(損失)合計		2,620	(1,392)
以下に帰属するもの:			
親会社の株主		2,394	(1,749)
非支配持分		226	357
当期包括利益／(損失)合計		2,620	(1,392)

1 財務書類に対する注記は英語原文の 58-63 ページをご参照ください

2 税引後の金額で報告されています。

3 2018年1月1日からIFRS第9号を採用したことに伴い、売却可能投資再評価差額に代わり、その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融商品の再評価差額が導入されました。

要約連結財務書類

要約連結貸借対照表

資産	注記 ¹	2018年	2017年
		12月31日現在 ² (百万ポンド)	12月31日現在 ² (百万ポンド)
現金および中央銀行預け金		177,069	171,082
現金担保および決済残高		77,222	77,168
貸付金(償却原価ベース)		326,406	324,048
リバース・レポ取引およびその他類似の担保付貸付		2,308	12,546
トレーディング・ポートフォリオ資産		104,187	113,760
損益計算書を通じて公正価値で測定する金融資産		149,648	116,281
デリバティブ		222,538	237,669
金融投資		-	58,915
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産		52,816	-
関連会社および合併企業に対する投資		762	718
のれんおよび無形資産		7,973	7,849
有形固定資産		2,535	2,572
未収還付税	1	798	482
繰延税金資産	1	3,828	3,457
退職給付資産	8	1,768	966
その他の資産		3,425	4,542
売却目的保有に分類された処分グループに含まれる資産		-	1,193
資産合計		1,133,283	1,133,248
負債			
預り金(償却原価ベース)		394,838	398,701
現金担保および決済残高		67,522	68,143
レポ取引およびその他類似の担保付借入		18,578	40,338
発行債券		82,286	73,314
劣後負債	6	20,559	23,826
トレーディング・ポートフォリオ負債		37,882	37,351
公正価値で測定すると指定された金融負債		216,834	173,718
デリバティブ		219,643	238,345
未払税金	1	628	586
繰延税金負債	1	51	44
退職給付債務	8	315	312
その他の負債		7,716	9,011
引当金	7	2,652	3,543
負債合計		1,069,504	1,067,232
株主資本			
払込済株式資本および株式払込剰余金	9	4,311	22,045
その他の剰余金	11	5,153	5,383
利益剰余金		43,460	27,536
親会社の普通株主に帰属する株主資本		52,924	54,964
その他の持分商品	10	9,632	8,941
非支配持分を除く株主資本合計		62,556	63,905
非支配持分	2	1,223	2,111
株主資本合計		63,779	66,016
負債および株主資本合計		1,133,283	1,133,248

1 財務書類に対する注記は英語原文の58-63ページをご参照ください。

2 2018年1月1日からパークレイズは新たな会計方針を採用したことに伴い、貸借対照表の表示を変更しております。新たな会計方針の採用に関する詳細は、2018年度年次報告書の英語原文347-354ページの注記8「移行に関する開示」および英語原文149-175ページの「信用リスクの開示」をご参照ください。

要約連結財務書類

要約連結株主資本変動表

	払込済株式 資本および 株式払込 剰余金 ¹ (百万ポンド)	その他の 持分商品 ¹ (百万ポンド)	その他の 剰余金 ¹ (百万ポンド)	利益 剰余金 (百万ポンド)	合計 (百万ポンド)	非支配 持分 ² (百万ポンド)	株主資本 合計 (百万ポンド)
2018年12月31日に終了した年度							
2017年12月31日現在残高	22,045	8,941	5,383	27,536	63,905	2,111	66,016
会計方針の変更による影響	-	-	(136)	(2,014)	(2,150)	-	(2,150)
2018年1月1日現在残高	22,045	8,941	5,247	25,522	61,755	2,111	63,866
継続事業							
税引後利益	-	752	-	1,394	2,146	226	2,372
当期税引後その他の包括利益	-	-	(95)	343	248	-	248
当期包括利益合計	-	752	(95)	1,737	2,394	226	2,620
普通株式の新規発行	88	-	-	-	88	-	88
従業員株式制度に基づく株式発行	51	-	-	449	500	-	500
資本再構築 ³	(17,873)	-	-	17,873	-	-	-
その他の持分商品の発行及び交換	-	692	-	(308)	384	-	384
その他の持分商品に係るクーポン支払額	-	(752)	-	203	(549)	-	(549)
優先株式の償還	-	-	-	(732)	(732)	(1,309)	(2,041)
債務から持分への分類変更 ⁴	-	-	-	-	-	419	419
自己株式	-	-	1	(499)	(498)	-	(498)
配当金支払額	-	-	-	(768)	(768)	(226)	(994)
その他の変動	-	(1)	-	(17)	(18)	2	(16)
2018年12月31日現在残高	4,311	9,632	5,153	43,460	62,556	1,223	63,779
2017年12月31日に終了した年度							
2016年12月31日現在残高	21,842	6,449	6,051	30,531	64,873	6,492	71,365
会計方針の変更による影響	-	-	(175)	175	-	-	-
2017年1月1日現在残高	21,842	6,449	5,876	30,706	64,873	6,492	71,365
税引後利益	-	639	-	413	1,052	249	1,301
当期税引後その他の包括利益	-	-	(1,846)	48	(1,798)	(1)	(1,799)
継続事業からの税引後包括利益合計	-	639	(1,846)	461	(746)	248	(498)
非継続事業からの税引後包括利益合計	-	-	1,332	(2,335)	(1,003)	109	(894)
当期包括利益合計	-	639	(514)	(1,874)	(1,749)	357	(1,392)
普通株式の新規発行	117	-	-	-	117	-	117
従業員株式制度に基づく株式発行	86	-	-	505	591	-	591
その他の持分商品の発行および交換	-	2,490	-	-	2,490	-	2,490
その他の持分商品に係るクーポン支払額	-	(639)	-	174	(465)	-	(465)
優先株式の償還	-	-	-	(479)	(479)	(860)	(1,339)
自己株式	-	-	14	(636)	(622)	-	(622)
配当金支払額	-	-	-	(509)	(509)	(415)	(924)
BAGLの一部売却による株主資本への 正味影響額	-	-	-	(359)	(359)	(3,462)	(3,821)
その他の変動	-	2	7	8	17	(1)	16
2017年12月31日現在残高	22,045	8,941	5,383	27,536	63,905	2,111	66,016

1 株式資本、その他の持分商品およびその他の剰余金の詳細は英語原文の62-63ページに記載されています。

2 非支配持分の詳細は英語原文の58ページに記載されています。

3 資本再構築の詳細は英語原文の[62]ページに記載されています。

4 バークレイズ・バンク・ピーエルシーが発行した劣後負債の見直しに伴い、一部の商品は持分商品の基準を満たすとみなされ、その後分類変更されています。

要約連結財務書類

要約連結キャッシュフロー計算書

	2018年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2017年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)
継続事業		
税引前利益	3,4941	3,541
非現金項目の調整	985	6,023
営業資産および負債の変動	4,573	51,855
法人税等支払額	(548)	(708)
営業活動からのキャッシュ純額	8,504	60,711
投資活動からのキャッシュ純額	678	3,502
財務活動からのキャッシュ純額	(6,788)	961
現金および現金同等物に係る為替レートの影響	4,160	(4,773)
継続事業からの現金および現金同等物の純増加	6,554	60,401
非継続事業からのキャッシュ純額	-	101
現金および現金同等物の純増加	6,554	60,502
現金および現金同等物 期首残高	204,612	144,110
現金および現金同等物 期末残高	211,166	204,612

財務書類に対する注記(抜粋)

7. 引当金

	2018年 12月31日現在 (百万ポンド)	2017年 12月31日現在 (百万ポンド)
支払保障保険(PPI)に係る補償	888	1,606
その他顧客に対する補償	444	639
法律、競争および当局関連	414	435
人員削減および事業再編	169	159
未実行のコミテッド・ファシリティおよび提供された保証	271	79
有償契約	139	225
その他引当金	327	400
合計	2,652	3,543

支払保障保険(PPI)に係る補償

2018年12月31日現在、パークレイズ・グループは支払保障保険(PPI)に係る補償費用および関連する請求処理費用に対して累計総額96億ポンド(2017年:92億ポンド)を引当金として認識していました。このうち4億ポンドは2018年度第1四半期に認識されたものです。引当金累計総額のうち87億ポンド(2017年:76億ポンド)が取り崩されています。この結果、引当金の残高は9億ポンド(2017年:16億ポンド)となっています。

2018年12月31日までに、顧客が開始した240万件(2017年:210万件)の請求¹が受理され、処理されています。

現在の引当金は、2018年末の情報に基づいて、主に顧客が開始した請求および進行中の是正プログラムに関連するPPIに係る補償費用の見積もりを反映しています。また、これには以前に売却したポートフォリオから発生し、第三者が管理している負債で、パークレイズ・グループが引き続き責任を負うものも含まれています。

2018年12月31日現在、9億ポンドの引当金は、金融行為規制機構(FCA)が実施した2019年8月29日の請求最終期限を反映して想定されるPPI補償についてのパークレイズの最良の見積もりを表しているものです。しかしながら、最終的な結果が現在の見積もりと異なる可能性があります。パークレイズ・グループは将来の影響に関して引当金水準の適切性を引き続き見直していきます。

PPI引当金は、重要なモデリングと経営者の判断を継続的に伴う多くの重要な仮定を用いて算出されています。

- 顧客が開始した請求件数 - 受理されたものの未処理の請求に加え、今後顧客が開始する請求の見積もりで、後者はPPI請求期限後には請求が停止すると予想されています。
- 平均請求補償額 - 承認された請求に関して顧客に支払われる保険契約のタイプおよび年限に基づく予想平均支払額。
- 請求1件当たりの処理費用 - 有効な請求1件を評価および処理するためにパークレイズ・グループに発生する費用

これらの仮定は、請求管理会社(CMC)の活動およびFCAのアドバタイジング・キャンペーンから生じる苦情を含む将来の請求水準に係る不確実性のため、引き続き主観的なものです。

下表は、2018年12月31日現在の引当金算出に使用した重要な予測の仮定および感応度分析の概略を述べ、将来の予想についての仮定が高過ぎるまたは低過ぎると判明した場合の引当金への影響を説明しています。

仮定	2018年 12月31日までの 累計実績	将来予想される 保険金請求	感応度分析 引当金の 増加/減少
顧客が開始した請求の受理および処理件数 ¹	2,400	290	50千件=117百万ポンド
請求1件当たりの平均承認率 ² (%)	89	91	1%=6百万ポンド
有効請求1件当たりの平均補償額 ³ (ポンド)	2,136	2,233	100ポンド=26百万ポンド

¹ これまでパークレイズ・グループが直接受理した不適正販売請求の総件数にはCMCを通じて受理された請求を含みますが、PPI保険証書が存在しない請求および積極的な通知郵送への回答は含まれていません。顧客が開始した不適正販売請求件数の5万件増加または減少が処理費用を含む引当金水準に及ぼす影響を示すための感応度分析を実施しました。

² 不適正販売請求1件当たりの平均承認率はパークレイズ・グループが直接受理した顧客が開始した不適正請求件数および積極的な通知郵送への回答を対象としており、PPI保険証書が存在しない場合は含めていません。請求1件当たりの平均承認率の1%の変化が引当金水準に及ぼす影響を示すために感応度分析を実施しました。

³ 平均補償額はパークレイズ・グループが直接受理する今後顧客が開始する不適正販売請求に関する保険契約1件当たりベースで表示されています。請求1件当たりの平均補償額の100ポンド増加または減少が引当金水準に及ぼす影響を示すための感応度分析を実施しました。

Appendix: 非 IFRS パフォーマンス指標

パークレイズ経営陣は、本書に記載されている非 IFRS パフォーマンス指標は、財務書類の利用者に対しては異なる財務期間のパフォーマンスを容易に比較可能にする点において財務書類を参照する際の有益な情報を提供しており、また、各事業責任者に対しては、パークレイズ・グループの評価をする際、最も直接的に影響を及ぼすことができる、あるいは関係するパフォーマンスの要素に関してより詳細な情報を提供すると考えています。また、非 IFRS パフォーマンス指標は、パークレイズ経営陣がビジネス上の目標をどのように設定し、それに対するパフォーマンスをどのようにモニターするかの重要な指標も反映しています。

ただし、本書に記載されている非 IFRS パフォーマンス指標は IFRS 指標を代替するものではありません。IFRS 指標も併せてご考慮ください。

非IFRSパフォーマンス指標用語集

指標	定義
預貸率	貸付金(償却原価ベース)を預り金(償却原価ベース)で除したもの。計表は英語原文の43ページに記載。
期末割当有形株主資本	割当有形株主資本は、パークレイズ・グループが資本計画の目的で使用する仮定を反映しており、のれんおよび無形資産を除き、資本控除を調整後の各事業部門のリスク調整後資産の13.0%(2017年度:12.0%)として算出。本社の割当有形株主資本はパークレイズ・グループの有形株主資本と事業部門への割当額との差額を表す。
平均有形株主資本	前月末の有形株主資本と当月末の有形株主資本の平均で算出。当期の平均有形株主資本は、当期の月次平均の平均。
平均割当有形株主資本	前月末の割当有形株主資本と当月末の割当有形株主資本の平均で算出。当期の平均割当有形株主資本は、当期の月次平均の平均。
平均有形株主資本利益率	平均株主資本(非支配持分およびその他の持分商品を除き、無形資産およびのれんの控除を調整後)に対する親会社の普通株主に帰属する年次換算された税引後利益(その他の持分商品に関連して剰余金に計上される税額控除を調整後)の比率。計表は英語原文の65ページに記載。
平均割当有形株主資本利益率	平均割当有形株主資本に対する親会社の普通株主に帰属する年次換算された税引後利益(その他の持分商品に関連して剰余金に計上される税額控除を調整後)の比率。計表は英語原文の65ページに記載。
収益に対する費用の比率	営業費用合計を収益合計で除したもの。
貸倒率	ベース・ポイントで表示。年次換算された減損費用合計を貸借対照表日現在の償却原価で保有する貸付金総額で除したもの。計表は英語原文の29ページに記載。
純利ざや	年次換算された利息収入純額を平均顧客資産の合計額で除したもの。計表は英語原文の25ページに記載。
1株当たり正味有形資産価額	株主資本(非支配持分およびその他の持分商品を除く)からのれんおよび無形資産を差し引いた額を発行済普通株式数で除したもの。計表は英語原文の72ページに記載。
訴訟および特定行為を除いた場合のパフォーマンス指標	パフォーマンス指標から訴訟および特定行為の費用を除いて算出したもの。計表は英語原文の66ページから72ページに記載。

Appendix: 非 IFRS パフォーマンス指標

リターン

平均有形株主資本利益率は、親会社の普通株主に帰属する年次換算された当期利益（その他の持分商品に係る支払利息に関連して剰余金に計上されている税額控除を調整後）を、各事業の非支配持分およびその他の株主資本を除いた当期の平均有形株主資本で除して算出されます。割当有形株主資本は、バークレイズグループが資本計画の目的で使用する仮定を反映しており、のれんおよび無形資産を除き、資本控除を調整後の各事業部門のリスク調整後資産の 13.0%（2017 年度：12.0%）として算出されています。本社の平均割当有形株主資本はバークレイズグループの平均有形株主資本と各事業部門への割当額との差額を表しています。

	株主帰属 利益／(損失) (百万ポンド)	その他の 持分商品に係る 支払利息に関 する税額控除 (百万ポンド)	親会社の 普通株主に 帰属する 利益／(損失) (百万ポンド)	平均有形 株主資本 (億ポンド)	平均有形 株主資本 利益率 %
2018 年 12 月 31 日に終了した年度					
バークレイズ UK	1,158	40	1,198	100	11.9
コーポレート・アンド・インベストメント・バンク(CIB)	1,641	140	1,781	260	6.9
コンシューマー、カードおよび決済事業	800	18	818	50	16.5
バークレイズ・インターナショナル	2,441	158	2,599	310	8.4
本社	(2,205)	5	(2,200)	31	n/m
バークレイズ・グループ	1,394	203	1,597	441	3.6
2017 年 12 月 31 日に終了した年度					
バークレイズ UK	853	40	893	91	9.8
コーポレート・アンド・インベストメント・バンク(CIB)	167	102	269	240	1.1
コンシューマー、カードおよび決済事業	680	18	698	42	16.7
バークレイズ・インターナショナル	847	120	967	281	3.4
本社 ¹	(868)	4	(864)	93	n/m
バークレイズ・ノンコア	(419)	10	(409)	24	n/m
アフリカ・バンキング非継続事業 ¹	(2,335)	-	(2,335)	n/m	n/m
バークレイズ・グループ	(1,922)	174	(1,748)	489	(3.6)

¹ アフリカ・バンキングに関連する平均割当有形株主資本は本社に含まれます。

Appendix: 非 IFRS パフォーマンス指標

訴訟および特定行為を除いた場合のパフォーマンス指標

2018年12月31日に終了した年度

	パークレイズ UK (百万ポンド)	コーポレート・ アンド・ インベストメント・ バンク(CIB) (百万ポンド)	コンシューマー、 カードおよび 決済事業 (百万ポンド)	パークレイズ・ インター ナショナル (百万ポンド)	本社 (百万ポンド)	パークレイズ・ グループ (百万ポンド)
収益に対する費用の比率						
営業費用合計	(4,604)	(7,349)	(2,312)	(9,661)	(1,978)	(16,243)
訴訟および特定行為の影響	483	68	59	127	1,597	2,207
営業費用	(4,121)	(7,281)	(2,253)	(9,534)	(381)	(14,036)
収益合計	7,383	9,765	4,261	14,026	(273)	21,136
訴訟および特定行為を除いた場合の 収益に対する費用の比率	56%	75%	53%	68%	n/m	66%
税引前利益						
税引前利益／(損失)	1,956	2,593	1,182	3,775	(2,237)	3,494
訴訟および特定行為の影響	483	68	59	127	1,597	2,207
訴訟および特定行為を除いた場合の 税引前利益／(損失)	2,439	2,661	1,241	3,902	(640)	5,701
親会社の普通株主に帰属する利益						
株主帰属利益／(損失)	1,158	1,641	800	2,441	(2,205)	1,394
訴訟および特定行為の税引後の影響	472	62	44	106	1,558	2,136
訴訟および特定行為を除いた場合の 株主帰属利益／(損失)	1,630	1,703	844	2,547	(647)	3,530
その他の持分商品に係る支払利息に関する 税額控除	40	140	18	158	5	203
訴訟および特定行為を除いた場合の 親会社の普通株主に帰属する利益／(損失)	1,670	1,843	862	2,705	(642)	3,733
平均有形株主資本利益率	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
平均株主資本	136	262	61	323	62	521
のれんおよび無形資産	(36)	(2)	(11)	(13)	(31)	(80)
平均有形株主資本	100	260	50	310	31	441
訴訟および特定行為を除いた場合の 平均有形株主資本利益率	16.7%	7.1%	17.3%	8.7%	n/m	8.5%
基本的普通株式 1 株当たり利益						
基本的加重平均株式数(百万株)						17,075
訴訟および特定行為を除いた場合の 基本的普通株式 1 株当たり利益						21.9 ペンス

Appendix: 非 IFRS パフォーマンス指標

2017 年 12 月 31 日に終了した年度

	パークレイズ UK (百万ポンド)	コーポレート・ アンド・インベストメント・ バンク (百万ポンド)	コーポレート・ コンシューマー、 カードおよび 決済事業 (百万ポンド)	パークレイズ・ インター ナショナル (百万ポンド)	本社 ¹ (百万ポンド)	パークレイズ・ グループ ² (百万ポンド)
収益に対する費用の比率						
営業費用合計	(4,848)	(7,742)	(2,113)	(9,855)	(469)	(15,456)
訴訟および特定行為の影響	759	267	2	269	151	1,207
営業費用	(4,089)	(7,475)	(2,111)	(9,586)	(318)	(14,249)
収益合計	7,383	9,878	4,504	14,382	(159)	21,076
訴訟および特定行為を除いた場合の 収益に対する費用の比率	55%	76%	47%	67%	n/m	68%
税引前利益						
税引前利益／(損失)	1,747	2,056	1,219	3,275	(834)	3,541
訴訟および特定行為の影響	759	267	2	269	151	1,207
訴訟および特定行為を除いた場合の 税引前利益／(損失)	2,506	2,323	1,221	3,544	(683)	4,748
親会社の普通株主に帰属する利益						
株主帰属利益／(損失)	853	167	680	847	(868)	(1,922)
訴訟および特定行為の税引後の影響	733	259	1	260	137	1,150
訴訟および特定行為を除いた場合の 株主帰属利益／(損失)	1,586	426	681	1,107	(731)	(772)
その他の持分商品に係る支払利息に関する 税額控除	40	102	18	120	4	174
訴訟および特定行為を除いた場合の 親会社の普通株主に帰属する利益／(損失)	1,626	528	699	1,227	(727)	(598)
平均有形株主資本利益率	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
平均株主資本	136	249	56	305	106	571
のれんおよび無形資産	(44)	(10)	(14)	(24)	(14)	(82)
平均有形株主資本	91	240	42	281	93	489
訴訟および特定行為を除いた場合の 平均有形株主資本利益率	17.8%	2.2%	16.8%	4.4%	n/m	(1.2%)
基本的普通株式 1 株当たり利益						
基本的加重平均株式数(百万株)						16,996
訴訟および特定行為を除いた場合の 基本的普通株式 1 株当たり損失						(3.5 ペンス)

1 アフリカ・バンキングに関連する平均有形株主資本は本社に含まれています。

2 パークレイズ・グループの業績には、2017 年度通年のパークレイズ・ノンコアおよびアフリカ・バンキング非継続事業が含まれています。

Appendix: 非 IFRS パフォーマンス指標

パークレイズ・グループ

	2018 年度 第 4 四半期	2018 年度 第 3 四半期	2018 年度 第 2 四半期	2018 年度 第 1 四半期	2017 年度 第 4 四半期	2017 年度 第 3 四半期	2017 年度 第 2 四半期	2017 年度 第 1 四半期
収益に対する費用の比率	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
営業費用合計	(4,093)	(3,434)	(3,391)	(5,325)	(4,369)	(3,355)	(4,113)	(3,619)
訴訟および特定行為の影響	60	105	81	1,961	383	81	715	28
営業費用	(4,033)	(3,329)	(3,310)	(3,364)	(3,986)	(3,274)	(3,398)	(3,591)
収益合計	5,073	5,129	5,576	5,358	5,022	5,173	5,058	5,823
訴訟および特定行為を除いた場合の 収益に対する費用の比率	79%	65%	59%	63%	79%	63%	67%	62%
税引前利益								
税引前利益／(損失)	374	1,461	1,895	(236)	93	1,107	659	1,682
訴訟および特定行為の影響	60	105	81	1,961	383	81	715	28
訴訟および特定行為を除いた場合の 税引前利益	434	1,566	1,976	1,725	476	1,188	1,374	1,710
親会社の普通株主に帰属する利益								
株主帰属(損失)／利益	(76)	1,002	1,232	(764)	(1,294)	583	(1,401)	190
訴訟および特定行為の税引後の影響	62	85	59	1,930	351	77	703	19
訴訟および特定行為を除いた場合の 株主帰属(損失)／利益	(14)	1,087	1,291	1,166	(943)	660	(698)	209
その他の持分商品に係る支払利息に関する 税額控除	62	48	47	46	49	43	44	38
訴訟および特定行為を除いた場合の 親会社の普通株主に帰属する利益／(損失)	48	1,135	1,338	1,212	(894)	703	(654)	247
平均有形株主資本利益率	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
平均株主資本	522	525	513	520	559	566	575	585
のれんおよび無形資産	(79)	(79)	(78)	(78)	(78)	(78)	(82)	(91)
平均有形株主資本	443	446	435	442	481	489	493	494
訴訟および特定行為を除いた場合の 平均有形株主資本利益率	0.4%	10.2%	12.3%	11.0%	(7.4%)	5.7%	(5.3%)	2.0%
基本的普通株式 1 株当たり利益								
基本的加重平均株式数(百万株)	17,075	17,074	17,067	17,037	16,996	16,994	16,989	16,924
訴訟および特定行為を除いた場合の 基本的普通株式 1 株当たり利益／(損失)	0.3 ペンス	6.6 ペンス	7.8 ペンス	7.1 ペンス	(5.3 ペンス)	4.1 ペンス	(3.8 ペンス)	1.5 ペンス

Appendix: 非 IFRS パフォーマンス指標

パークレイズ UK

	2018年度 第4四半期	2018年度 第3四半期	2018年度 第2四半期	2018年度 第1四半期	2017年度 第4四半期	2017年度 第3四半期	2017年度 第2四半期	2017年度 第1四半期
収益に対する費用の比率	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
営業費用合計	(1,175)	(1,042)	(971)	(1,416)	(1,229)	(991)	(1,673)	(955)
訴訟および特定行為の影響	15	54	3	411	53	11	699	(4)
営業費用	(1,160)	(988)	(968)	(1,005)	(1,176)	(980)	(974)	(959)
収益合計	1,863	1,896	1,836	1,788	1,870	1,852	1,820	1,841
訴訟および特定行為を除いた場合の 収益に対する費用の比率	62%	52%	53%	56%	63%	53%	54%	52%
税引前利益								
税引前利益／(損失)	390	740	656	170	452	661	(74)	708
訴訟および特定行為の影響	15	54	3	411	53	11	699	(4)
訴訟および特定行為を除いた場合の 税引前利益	405	794	659	581	505	672	625	704
親会社の普通株主に帰属する利益								
株主帰属利益／(損失)	232	500	464	(38)	245	423	(285)	470
訴訟および特定行為の税引後の影響	12	48	1	411	37	8	691	(3)
訴訟および特定行為を除いた場合の 株主帰属利益	244	548	465	373	282	431	406	467
その他の持分商品に係る支払利息に関する 税額控除	9	10	9	12	13	9	9	9
訴訟および特定行為を除いた場合の 親会社の普通株主に帰属する利益	253	558	474	385	295	440	415	476
平均有形株主資本利益率	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
平均株主資本	136	137	136	134	131	140	135	136
のれんおよび無形資産	(35)	(36)	(35)	(35)	(35)	(46)	(48)	(47)
平均有形株主資本	101	101	101	98	96	94	87	89
訴訟および特定行為を除いた場合の 平均有形株主資本利益率	10.1%	22.0%	18.8%	15.7%	12.3%	18.7%	19.1%	21.5%

Appendix: 非 IFRS パフォーマンス指標

パークレイズ・インターナショナル

	2018年度 第4四半期	2018年度 第3四半期	2018年度 第2四半期	2018年度 第1四半期	2017年度 第4四半期	2017年度 第3四半期	2017年度 第2四半期	2017年度 第1四半期
収益に対する費用の比率	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
営業費用合計	(2,684)	(2,309)	(2,353)	(2,315)	(2,948)	(2,187)	(2,272)	(2,448)
訴訟および特定行為の影響	33	32	47	15	255	5	(4)	13
営業費用	(2,651)	(2,277)	(2,306)	(2,300)	(2,693)	(2,182)	(2,276)	(2,435)
収益合計	3,221	3,290	3,707	3,808	3,319	3,315	3,610	4,138
訴訟および特定行為を除いた場合の 収益に対する費用の比率	82%	69%	62%	60%	81%	66%	63%	59%
税引前利益								
税引前利益	215	850	1,297	1,413	6	652	1,261	1,356
訴訟および特定行為の影響	33	32	47	15	255	5	(4)	13
訴訟および特定行為を除いた場合の 税引前利益	248	882	1,344	1,428	261	657	1,257	1,369
親会社の普通株主に帰属する利益								
株主帰属(損失)/利益	(72)	650	890	973	(1,168)	359	819	837
訴訟および特定行為の税引後の影響	34	26	34	12	250	4	(3)	9
訴訟および特定行為を除いた場合の 株主帰属(損失)/利益	(38)	676	924	985	(918)	363	816	846
その他の持分商品に係る支払利息に関する 税額控除	51	37	36	34	34	32	27	27
訴訟および特定行為を除いた場合の 親会社の普通株主に帰属する利益/(損失)	13	713	960	1,019	(884)	395	843	873
平均有形株主資本利益率	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
平均株主資本	324	325	328	314	299	315	301	305
のれんおよび無形資産	(11)	(13)	(14)	(14)	(14)	(26)	(28)	(28)
平均有形株主資本	313	311	314	301	285	289	274	277
訴訟および特定行為を除いた場合の 平均有形株主資本利益率	0.2%	9.2%	12.2%	13.6%	(12.4%)	5.5%	12.3%	12.6%

Appendix: 非 IFRS パフォーマンス指標

コーポレート・アンド・インベストメント・バンク

	2018 年度 第 4 四半期	2018 年度 第 3 四半期	2018 年度 第 2 四半期	2018 年度 第 1 四半期	2017 年度 第 4 四半期	2017 年度 第 3 四半期	2017 年度 第 2 四半期	2017 年度 第 1 四半期
税引前利益	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
税引前利益／(損失)	85	498	835	1,175	(252)	593	925	790
訴訟および特定行為の影響	23	32	-	13	255	5	(4)	11
訴訟および特定行為を除いた場合の税引前利益	108	530	835	1,188	3	598	921	801
親会社の普通株主に帰属する利益								
株主帰属(損失)／利益	(128)	397	567	805	(1,256)	340	623	460
訴訟および特定行為の税引後の影響	27	25	-	10	250	4	(3)	8
訴訟および特定行為を除いた場合の株主帰属(損失)／利益	(101)	422	567	815	(1,006)	344	620	468
その他の持分商品に係る支払利息に関する税額控除	44	34	33	29	29	28	22	23
訴訟および特定行為を除いた場合の親会社の普通株主に帰属する(損失)／利益	(57)	456	600	844	(977)	372	642	491
平均割当有形株主資本利益率	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
平均株主資本	260	262	267	259	247	258	244	248
のれんおよび無形資産	-	(2)	(3)	(3)	(4)	(11)	(12)	(13)
平均割当有形株主資本	260	259	264	256	243	248	233	235
訴訟および特定行為を除いた場合の平均割当有形株主資本利益率	(0.9%)	7.0%	9.1%	13.2%	(16.1%)	6.0%	11.1%	8.3%

コンシューマー、カードおよび決済事業

	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
税引前利益								
税引前利益	130	352	462	238	258	59	336	566
訴訟および特定行為の影響	10	-	47	2	-	-	-	2
訴訟および特定行為を除いた場合の税引前利益	140	352	509	240	258	59	336	568
親会社の普通株主に帰属する利益								
株主帰属利益	56	253	323	168	88	19	196	377
訴訟および特定行為の税引後の影響	7	1	34	2	-	-	-	1
訴訟および特定行為を除いた場合の株主帰属利益	63	254	357	170	88	19	196	378
その他の持分商品に係る支払利息に関する税額控除	7	3	3	5	5	4	5	4
訴訟および特定行為を除いた場合の親会社の普通株主に帰属する利益	70	257	360	175	93	23	201	382
平均割当有形株主資本利益率	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
平均株主資本	64	63	60	55	53	57	57	57
のれんおよび無形資産	(11)	(11)	(11)	(10)	(11)	(15)	(16)	(15)
平均割当有形株主資本	53	52	50	45	42	42	41	42
訴訟および特定行為を除いた場合の平均割当有形株主資本利益率	5.4%	19.9%	28.9%	15.7%	9.0%	2.2%	19.4%	36.5%

Appendix: 非 IFRS パフォーマンス指標

本社

	2018年度 第4四半期	2018年度 第3四半期	2018年度 第2四半期	2018年度 第1四半期	2017年度 第4四半期	2017年度 第3四半期	2017年度 第2四半期	2017年度 第1四半期
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
税引前利益								
税引前損失	(231)	(129)	(58)	(1,819)	(365)	(206)	(122)	(141)
訴訟および特定行為の影響	12	19	31	1,535	75	65	1	10
訴訟および特定行為を除いた場合の 税引前損失	(219)	(110)	(27)	(284)	(290)	(141)	(121)	(131)

親会社の普通株主に帰属する利益

株主帰属損失	(236)	(148)	(122)	(1,699)	(371)	(199)	(175)	(123)
訴訟および特定行為の税引後の影響	16	11	24	1,507	64	65	1	7
訴訟および特定行為を除いた場合の 株主帰属損失	(220)	(137)	(98)	(192)	(307)	(134)	(174)	(116)

正味有形資産価額

	2018年 12月31日現在	2017年 12月31日現在
	(百万ポンド)	(百万ポンド)
非支配持分を除く株主資本合計	62,556	63,905
その他の持分商品	(9,632)	(8,941)
のれんおよび無形資産	(7,973)	(7,849)
親会社の普通株主に帰属する有形株主資本	44,951	47,115
	(百万株)	(百万株)
発行済株式	17,133	17,060
	(ペンス)	(ペンス)
1株当たり正味有形資産価額	262	276

株主情報

決算報告スケジュール¹

発表日

配当落ち日	2019年2月28日
配当基準日	2019年3月1日
株主向け参照株価	2019年3月7日
委任状または議決権不行使(該当があれば)の受付期限:午後4時30分(英国時間)	2019年3月15日
配当支払日/新株取り扱い開始日	2019年4月5日
2019年度第1四半期決算報告書	2019年4月25日

米国およびカナダの適格居住者である ADR 保有者については、2018 年度通年の普通株式 1 株当たり 4.0 ペンスが ADR1 単位(4 株に相当)当たり 16.0 ペンスになります。ADR 保有者の配当落ち日、配当基準日および配当支払日は、上記と同じです。

為替レート ²	2018年 12月31日に 終了した年度	2017年 12月31日に 終了した年度	増減率(%) ³
期末日-米ドル/英ポンド	1.28	1.35	(5%)
平均-米ドル/英ポンド	1.33	1.29	3%
3ヵ月平均-米ドル/英ポンド	1.29	1.33	(3%)
期末日-ユーロ/英ポンド	1.12	1.13	(1%)
平均-ユーロ/英ポンド	1.13	1.14	(1%)
3ヵ月平均-ユーロ/英ポンド	1.13	1.13	-

株価データ

パークレイズ・ピーエルシー(ペンス)	150.52	203.10
パークレイズ・ピーエルシー株式数(百万株)	17,133	17,060

お問い合わせ

インベスター・リレーションズ

リサ・バトリップ +44 (0) 20 7773 0708

メディア・リレーションズ

トーマス・ホスキン +44 (0) 20 7116 4755

パークレイズの詳細は当社のホームページ(home.barclays)にて閲覧可能です。

登録事務所

1 Churchill Place, London, E14 5HP, United Kingdom. 電話: +44 (0) 20 7116 1000 会社番号: 48839

登記

Equiniti, Aspect House, Spencer Road, Lancing, West Sussex, BN99 6DA, United Kingdom.

電話: 0371 384 2055+(英国内) または+44 121 415 7004(海外)

- ¹ 発表日は現時点で予定されているものであり、変更になる場合があります。株式配当プログラムの日付に変更があれば、当社のホームページ(home.barclays/dividends)にてお知らせいたします。
- ² 上記の平均為替レートは、各期間における日次のスポット・レートの平均です。
- ³ 増減率は英ポンドの数字に対する影響に基づくものです。
- ⁴ お電話でのお問い合わせへの対応時間はイングランドおよびウェールズの休祝日を除く月曜日から金曜日の英国時間午前8時30分から午後5時30分までとなっています。